

ゴールド・デマンド・トレンド

2013年年間

2014年2月号

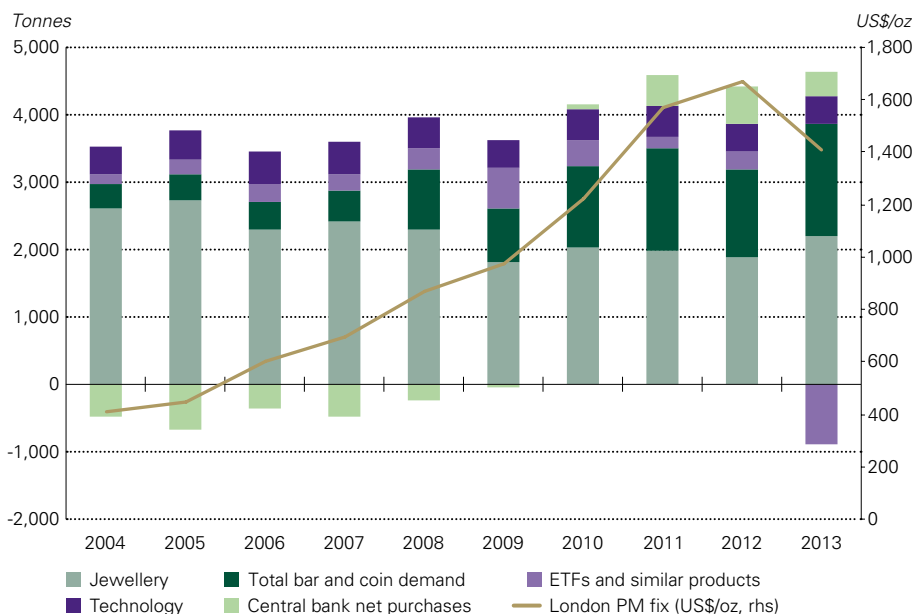
www.gold.org

2013年は金宝飾品の需要が金融危機以前に迫る水準まで回復し、小型の金地金や金貨への投資が過去最高を記録するなど、「消費者の1年」となりました。年間需要は3,756.1トン、金額ベースでは1,700億米ドルでした。しかし消費者需要の強さは印象的だったものの、上場投資信託 (ETF) からの流出や中央銀行の金購入額が減少したことの影響が大きく、最終的に13年の年間需要は、好調だった12年通年の数値をトンベースで15%下回りました。

目次

概要	02
世界の金市場 — 2013年	08
宝飾品	08
投資	10
中央銀行	13
テクノロジー	14
供給	14
金需要統計	16
付録	24
注記および定義	29

分野別金需要(トン)と金価格(米ドル/オンス)



Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

寄稿者

Louise Street

louise.street@gold.org

Krishan Gopaul

Krishan.gopaul@gold.org

Alistair Hewitt

alistair.hewitt@gold.org

Marcus Grubb

マネージング・ディレクター、
インベストメント・ストラテジ
marcus.grubb@gold.org

概要

2013年の金市場は二極化し、消費者や割安感を追求する投資家の需要が21%伸びる一方で、ETFからの大規模な流出が見られました。

宝飾品や金地金・金貨の需要は過去最高を記録しましたが、年間の金需要は最終的に15%減少しました。中国の年間消費者需要は過去最高を更新し、インドの需要は金の輸入制限に直面しながらも底堅さを見せました。

第2四半期の金価格の急落を受けて、アジアや中東の消費者は迅速かつ力強く反応しました。金価格下落の影響は、第4四半期には欧米市場にも広がりました。

表1: 2013年の金需要概要

	Tonnes				US\$m			
	2012	2013*	5-year average	2013 vs 2012 % change	2012	2013*	5-year average	2013 vs 2012 % change
Jewellery	1,896.1	2,209.5	1,983.3	17	101,745	100,248	87,617	-1
Technology	407.5	404.8	427.8	-1	21,864	18,365	18,836	-16
Investment	1,568.1	773.3	1,410.5	-51	84,144	35,085	62,462	-58
Total bar and coin demand	1,289.0	1,654.1	1,292.8	28	69,169	75,049	58,686	9
ETFs and similar products	279.1	-880.8	117.7	-	14,975	-39,964	3,776	-
Central bank net purchases	544.1	368.6	282.6	-32	29,193	16,724	14,198	-43
Gold demand	4,415.8	3,756.1	4,104.3	-15	236,946	170,422	183,113	-28

*Provisional.

Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

第4四半期には2013年通年と似通ったパターンが見られ、過去最高に迫った2012年第4四半期の需要を29%下回りました。金供給はリサイクル活動の減少が鉱山生産のわずかな増加分を上回ったことから年間で2%減少し、2年連続の減少となりました。

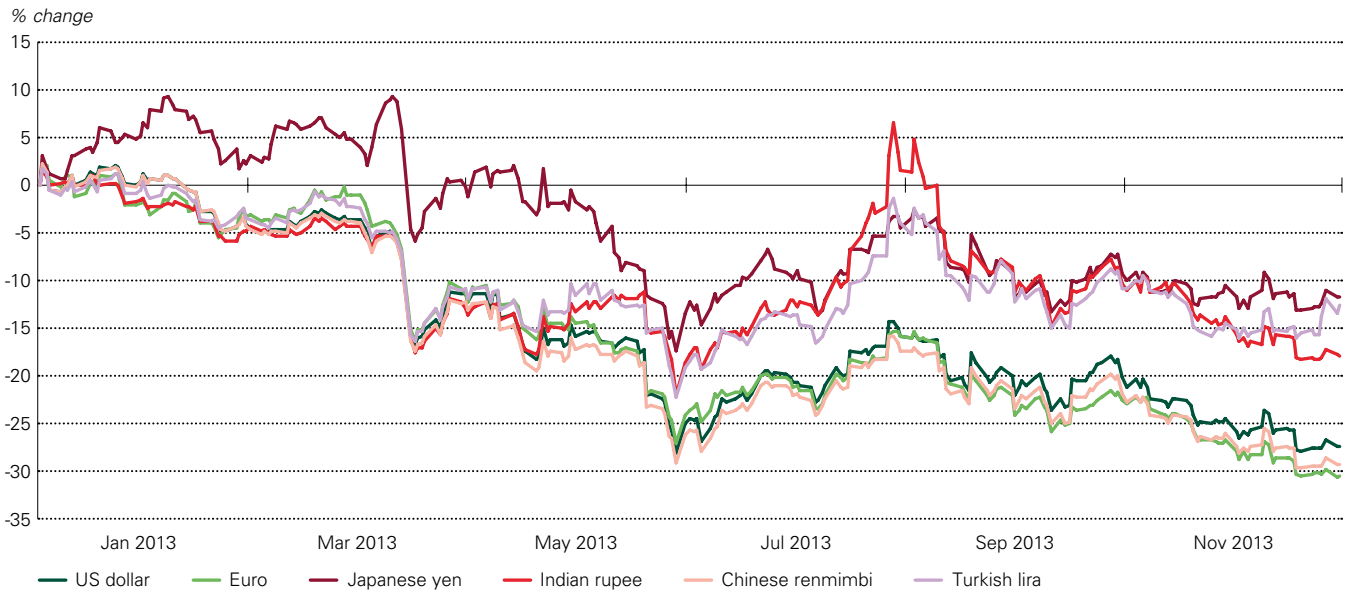
金価格は第2四半期に急落し、その後も年間を通して軟調に推移したことから、2013年の金需要は金額ベースで著しい影響を受けました。

金の年間平均価格は、米ドル、ユーロ、英ポンド、人民元を含む多くの通貨で2012年を約16%下回りました。しかし日本、インド、トルコなどいくつかの主要市場では、大幅な通貨安を背景に、大きく異なる値動きとなりました(図1)。



Scan with your mobile device to access our research app for investors

図1: 各通貨ベースの金価格の推移



- 米ドルベースの金価格は2013年第2四半期に急落し、年間では27%下落した。
- しかしインド、日本、トルコでは、本国通貨が下落した影響で値動きは大きく異なった。

Source: LBMA, Thomson Reuters Datastream, World Gold Council

実物確保の動き: 消費者需要は過去最高を記録

2013年は消費者需要の強さが印象的であり、宝飾品と金地金・金貨の需要（これらをまとめて「消費者需要」と呼びます）は21%増加して過去最高の3,863.5トンとなりました。増加分の大半は上期に集中していますが、4月と6月に金価格が急落したことを受けて、インドや中国など比較的価格に敏感な市場で消費者の迅速かつ力強い反応が促されたことを考えれば、これは驚くことではありません。価格下落の影響は宝飾品セクターを中心に世界に広がり、下期にかけても需要が堅調に推移しました。

2013年を総括するに当たって、欧米の金庫から前例のない規模で金が流出し、北米、スイス、ドバイの精錬業者を経て東の市場に向かったことに言及しないわけにはいきません。

ワールド ゴールド カウンシルがこれまでに詳しく解説してきた通り、この流出は、米国でマクロ経済的なセンチメントが改善したことを受け、欧米投資家が戦術的ETFポジションを大規模に売却したことによるものです。その結果として市場で流通する金が増え、インドや中国をはじめ多くのアジア・中東市場の消費者の旺盛な実物需要を満たしました。このような動きの結果、400オンスのロンドン・グッド・デリバリー・バー（ロンドン金市場受渡適合品）が大量に出荷され、より小型で消費者が扱いやすい地金に精錬されました。

第4四半期にはETFからのさらなる流出も加わり、年間の流出量は880.8トンでした。年間で678.4トン増えた消費者需要は、ETFからの流出の3四半期分を吸収しました。2013年の消費者需要の前年比の増加量はワールド ゴールド カウンシルが記録を取り始めてから最大であり、宝飾品、金地金・金貨を求める実物需要の強さを証明しています。

表2: 年間および四半期の平均金価格

	2012	2013	2013 vs 2012 % change	Q4'12	Q1'13	Q2'13	Q3'13	Q4'13	Q4'13 vs Q4'12 % change
US\$/oz	1,669.0	1,411.2	-15.4	1,721.8	1,631.8	1,414.8	1,326.3	1,276.2	-26
€/oz	1,298.7	1,063.8	-18.1	1,328.8	1,235.6	1,083.2	1,001.5	937.8	-29
£/oz	1,053.0	903.8	-14.2	1,072.6	1,051.6	921.4	855.5	789.2	-26
CHF/kg	50,323.7	42,090.3	-16.4	51,603.7	48,792.5	42,865.7	39,744.2	37,072.3	-28
¥/g	4,278.2	4,410.4	3.1	4,478.6	4,834.7	4,492.5	4,216.8	4,107.1	-8
Rs/10g	28,639.4	26,440.2	-7.7	29,964.7	28,420.8	25,381.0	26,503.5	25,452.4	-15
RMB/g	338.5	279.2	-17.5	345.7	326.5	280.0	261.2	250.0	-28
TL/g	96.6	86.0	-11.0	99.3	93.6	83.6	84.0	82.8	-17

Source: LBMA, Thomson Reuters Datastream, World Gold Council

中国がペースメーカーに

中国の金需要はワールド ゴールド カウンシルの年間予想を上回り、1065.8トンという注目すべき過去最高値を記録しました。第2四半期のゴールド・デマンド・トレンドで、金価格の動きに対する中国の消費者が見せた反応の力強さを議論しましたが、第2四半期が年間需要に最も大きく貢献しました。急速な需要増加の後には、当然ながらやや減速しましたが、第4四半期には伝統的に贈答の機会が多い春節へと関心が向かい、需要は再び持ち直しました。

中国では、2013年の並外れた需要増加が金産業に大きな影響を与え、金製品の生産キャパシティーや小売ネットワークの処理能力が大幅に拡大しました。

2013年の半ばに金供給が逼迫し、需要を満たすために大量の在庫が放出されましたが、その後、将来同じような規模で金需要が急増したときにはサプライチェーンがきちんと対応しなければならないという共通認識が形成されました。この点に関し、最近数カ月間は供給網での大幅な在庫の積み増しが目立ち、さらに供給網自体の拡大がそれを増幅させています。

2014年1月の春節の休暇期間も、消費者向け金製品の需要は堅調だったもようです。しかし価格期待は落ち着いているため、中国の需要は少なくとも短期的には、比較的安定したペースを維持する見通しです。

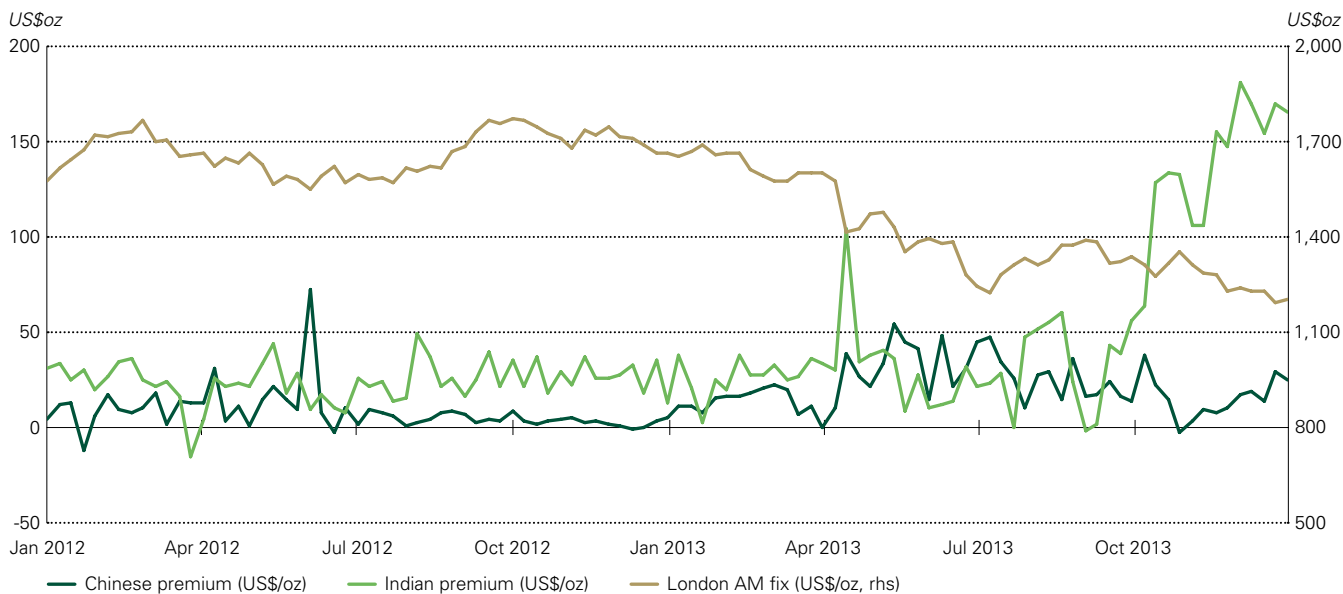
一方、インドは輸入制限のハードルを乗り越える

インドの消費者は2013年も金への強い愛着を示し、年間需要は974.8トンと過去3番目の水準となりました。しかもこれは、金需要を抑えるためにインド政府がさまざまな政策を実行したなかでの数字です。インド政府は経常赤字の縮小を目指しており、輸入関税の引き上げ、厳しい輸入割当、金関連の融資や金貨の売却の制限といった影響で、国内市場への供給量が減少しました。

2013年通年のインドの需要を考える際は、こうした同国特有の動きが現地の金価格に与えた影響を理解することが重要です。ルピー建て金価格は4月に世界的な金価格の下落と合わせて急落しましたが、米ドルに対するルピーの下落と需給圧力が相まって、その後まもなく米ドル建て金価格との連関が弱まりました。供給制限が実施されたことからプレミアムが押し上げられ、すでに(国際価格と比べて)高い水準にあった現地金価格はさらに高騰しました。そのためインドの消費者は、他の多くの市場の消費者とは異なり、下期に金を安く手に入れる機会を得られませんでした(図2)。

公式統計¹によると、インド政府が輸入制限策を実行した影響で、7月から10月(入手可能な最新データ)にかけて金輸入量は前年同期比で63%減少しました。しかしインドの金市場にはリサイクル、国内生産、非正規ルートでの輸入といった代替手段で金が供給されました。インドの消費者の潜在的な金需要は引き続き旺盛であり、正規の金輸入の急減により、非正規ルートで輸入した金で需要を満たす結果となりました。非正規市場はその性質上不透明なものであり、正確に数値化することは困難です。そのためインドにおける金の密輸規模の推計値には大きなばらつきがあります。市場アナリストによると毎月20~30トンが密輸されている可能性があります。インド財務相の見解ではもっと少なく、下期に毎月1~3トン程度だったとする発言が報じられています。トムソン・ロイターGFMSは「ゴールド・サーベイ2013アップデート2」の中で、金の密輸量は年間150トンを上回るとの見方を示しています。しかしワールド・ゴールド・カウンシルの市場分析に基づく独自の推計によると、非正規ルートの金の流通量はさらに多い可能性があります。ワールド・ゴールド・カウンシルは以前、2013年の密輸量を150~200トンとする推計値を発表しましたが、最終的にこのレンジの上限に近かったと思われる。

図2: 中国とインドの金価格プレミアム(週次)



- 中国では、国内の金需要の強さと、金が西から東へ移動したことによる供給逼迫の影響が相まって、価格プレミアムが上昇。
- 一方、インドの価格プレミアム上昇は輸入規制が主な原因である。

Source: LBMA, Thomson Reuters, Bloomberg, World Gold Council

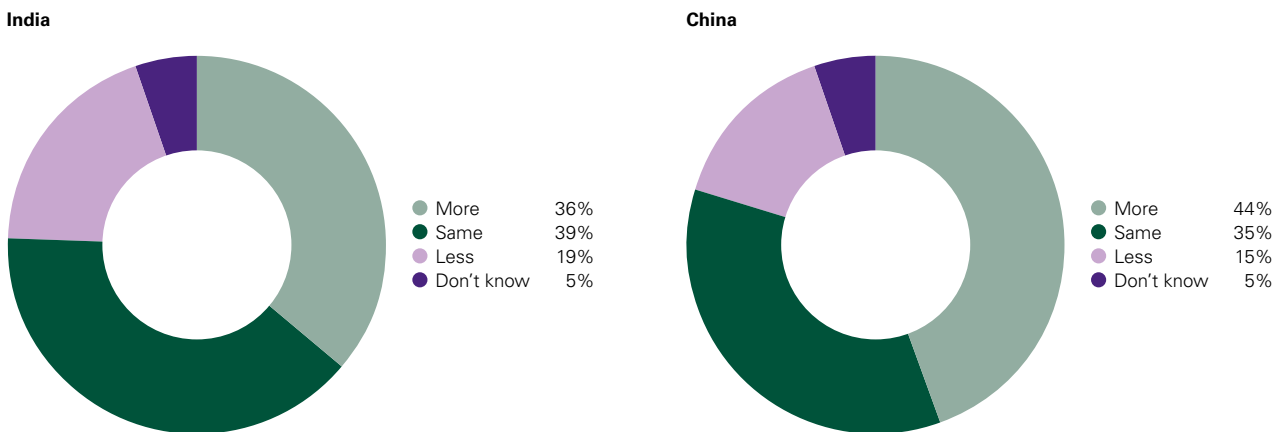
1 インド商工相、GTIS。

インドでは、金の輸入制限によって経常赤字の縮小という当初の目標が実現しつつあるという楽観論が見られます。とはいえ、輸入制限は少なくとも2014年の第1四半期末まで実施される公算が大きく、それ以降も継続される可能性があるため、引き続き正規ルートでの金供給は限られます。インドの消費者の潜在需要は依然として力強く、この先も正規の金の流れを密輸金が補うパターンが続くことは間違いありません。このことは、ワールド・ゴールド・カウンシルが実施した消費者調査でも裏付けられました。インドと中国の消費者の大半が、今後12カ月で直近の12カ月と同等あるいはそれ以上の金額を金宝飾品に支出するつもりだと回答したのです(図3)。ただしインドの場合、2014年上期の需要は、2013年上期の並外れた水準には及ばないかもしれません(図4)。

第4四半期は他の国々も競争に参加

2013年は全般的にアジア・中東市場 — 特にインドと中国 — が活発でしたが、第4四半期に宝飾品セクターを中心に欧米消費者の需要が改善したことは注目に値します。東の市場とは異なり、欧米の宝飾品の消費者は第2四半期の金価格の急落に機敏に反応しませんでした。これは主に、インドや中国では金相場の動きに合わせて小売商品の価格が日次ベースで調整されるのに対し、欧米では国際金価格の下落が小売商品に反映されるまでに時間がかかるためです。しかし金価格の低い状態が持続するなか、消費者センチメントの改善や、消費が活発化する第4四半期の到来という要素が重なって、欧米の多くの市場で需要が上向きしました。

図3: 今後12カ月のあなたの金宝飾品への支出額は、過去12カ月と比べて増えると思いますか、減ると思いますか、それとも変わらないと思いますか?



- インドと中国の消費者は、向こう1年間で金宝飾品を購入する強い意欲を示した。

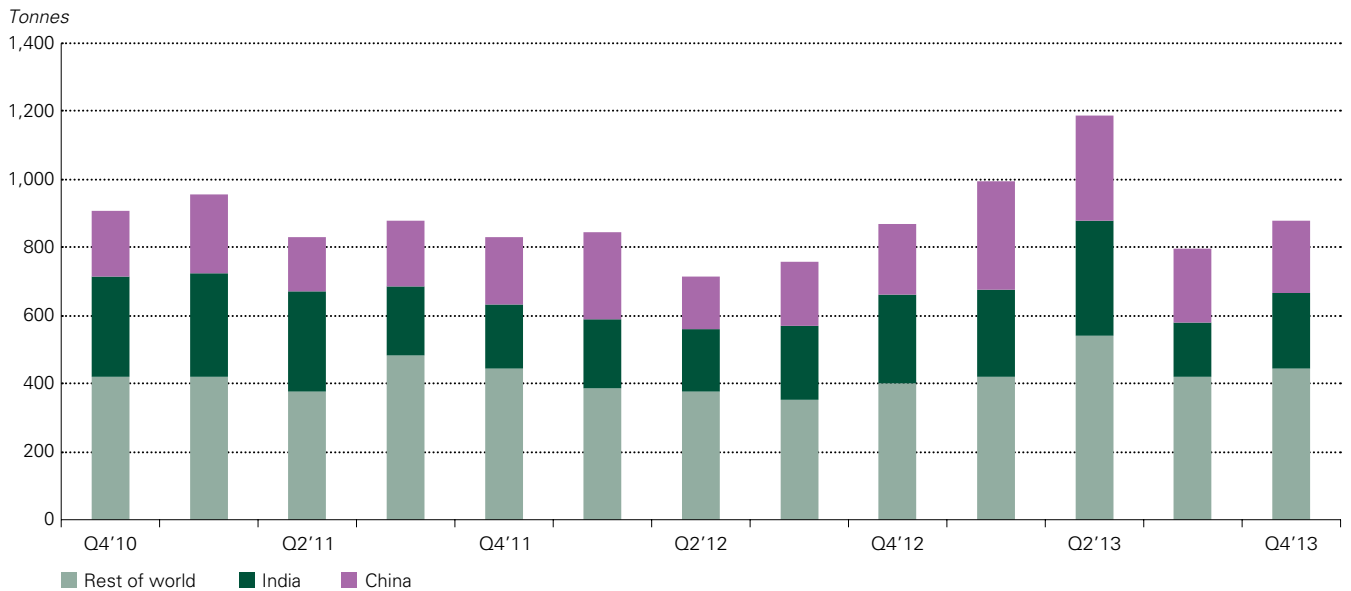
Note: Survey of 2,002 Indian and Chinese consumers and their attitude towards gold conducted by the World Gold Council during January 2014. Totals may not sum to 100% due to rounding.

Source: World Gold Council

米国では宝飾品需要が4四半期連続で前年同期を上回り、年間需要は2010年に迫る水準まで回復しました。年間需要が前年比で増加したのは2001年以降で初めてです。景気が回復しつつあることを反映し、ローエンドの商品を中心に小売売上高の伸びや高カラット商品への回帰が見られました。インド、中国、イタリアからの輸入量が大幅に増加したことを背景に、米国の金宝飾品の年間輸入量は2005年以降で初めて増加しました。

英国市場でも、消費者が高カラット商品を選好する傾向が明らかになり、宝飾品需要が力強く改善しました。バーミンガム試金鑑定所(BAO)の純度検証刻印データによると、金価格の下落にともない、純度検証を申請した商品の数は2013年を通して増加しました。BAOは「12月は..... 特に力強く、30.9%増加した..... 金価格下落の影響が消費者にも伝わったため」と指摘しています。

図4: インド、中国、その他の国々の消費者需要(トン)



- インド、中国ともに、需要が極めて強かった2013年上期と比べると下期の需要は著しく減速した。
- 世界のその他の国々は2013年を通してより安定的に成長し、消費者需要に占める割合は上期の44%から下期には52%に増加した。

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

世界の金市場 - 2013年

宝飾品

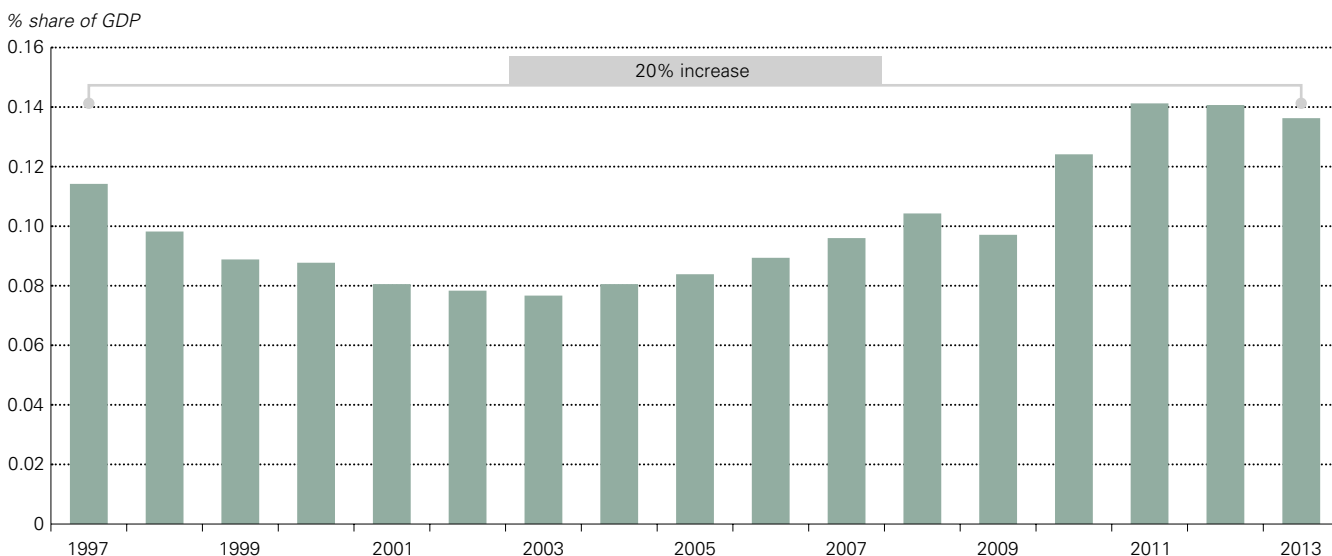
2013年の年間宝飾品需要(トンベース)の伸びは1997年以降で最大となり、金融危機以前の水準まで需要が回復しました。第4四半期の需要は553.8トンと5年間の四半期平均を12%上回り、6四半期連続で前年同期を上回りました。

宝飾品セクターは2013年を通して成長を続けましたが、特に上期に大きく成長しました。概要で解説した通り、アジア・中東市場の消費者が金価格の急落に迅速に反応する一方で、欧米の一部の市場では反応が数カ月遅れました。下期の需要は前年同期比で66.8トン(7%)増えました。興味深いのは、米国と英国の増加分が合わせて14トンに達したことです。両国では伝統的にクリスマスの影響で第4四半期が需要のピークになるとはいえ、両国の規模やこれまでの動き - 両国ともに第4四半期の需要が前年同期を上回ったのは2001年以降で初めて - を考えると、この数字はかなりの大きさだと言えます。

米ドルベースで見た世界の年間宝飾品需要は、過去最高を記録した2012年の水準を下回りました(図6)。これは金価格の大幅な下落を考えれば驚くことではありません。しかし減少幅はわずか2%であり、トンベースでの消費者需要の強さが明確に表れています。この点は、金額ベースの需要を国別に見るとさらにはっきりします。多くの国が前年を上回る - 多くの場合は過去最高の - 年間需要を記録しました。年間需要が過去最高を記録したのはインド(1兆6,200億インドルピー)、中国(1,870億元)、トルコ(63億トルコリラ)で、日本では776億円と2008年以来の水準に達しました。

より長期的な視点で見ると、2003年以降、金宝飾品に割り当てられる世界の富の割合は増加傾向にあります(金融危機が最も深刻だった2009年を除く)。世界の国内総生産(GDP)に対する金額ベースの金宝飾品需要の比率は、10年前の0.08%弱から2013年には0.14%近くにまで増加しました(図5)。重要なのは、GDP比で比べた場合、トンベースの需要が最大(3,293.9トン)だった1997年の金宝飾品需要を、2013年の需要が約20%も上回るということです。

図5: 世界のGDPに対する宝飾品需要の比率



- トンベースの金需要が最大だった1997年以降の金額ベースの需要の伸びは、世界のGDP成長率を上回る。

Source: Thomson Reuters GFMS, IMF WEO

ワールド ゴールド カウンシルは過去のゴールド・デマンド・トレンドで、2013年の注目すべき動きとして、高カラットの宝飾品に対する人気の高まりを指摘しました。宝飾品購入の投資的な要素が追い風となり、この傾向は年末にかけてさらに定着しました。特に第2、第3四半期の需要増大によって小口投資商品が不足したことが影響しています。米国では、いつもは高額商品の市場が比較的堅調ですが、量販ブランドが超低カラットの商品から離れて14カラット商品の在庫を増やしたことを背景に、より高カラット商品に向かう傾向は、低価格向け市場でも顕著に見られました。

アジア・中東市場では、金価格の下落によって宝飾品の購入が活発化し、第4四半期が始まる前に需要の一部が「先食い」されたことから、同四半期の需要が抑制されたものと思われます。さらに、金価格が安定したという見方が広がり、価格が安いうちに早く買わなければならないという消費者の切迫感はなくなりました。

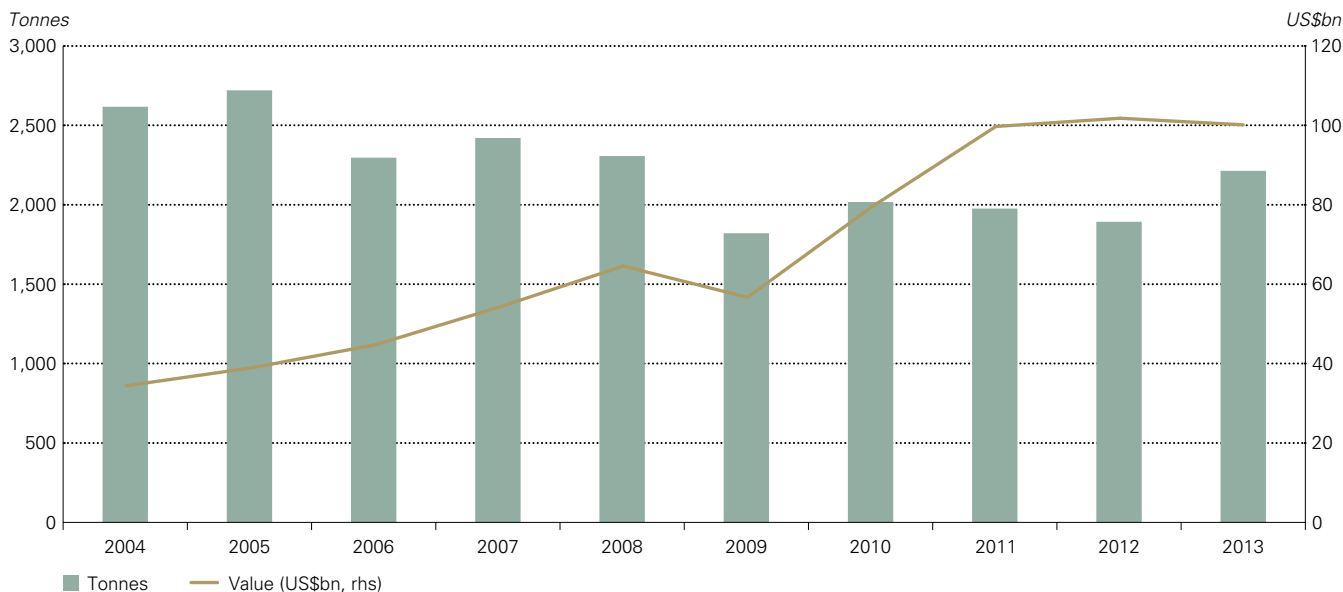
インドの第4四半期の宝飾品需要は前年同期からほぼ横ばいでした。わずかに減少したのは、供給面の混乱が原因です。現地プレミアムは第4四半期に急上昇し、約200米ドル/オンスの水準に達しましたが、年末の数週間で反落しました。ディワリ祭関連の金需要が旺盛だったことから、プレミアムの上昇よりも金価格が下落した影響のほうが明らかに大きく、第4四半期の需要

は堅調でした。しかし需要が極めて力強かった上期と比べれば下期はかなり弱く、通年での宝飾品需要は堅実な水準となりました。

中国では第4四半期の宝飾品需要に落ち着きが見られましたが、これは過去最高の需要を記録した3四半期の影響があったと考えられます。第4四半期の需要の減速は現地プレミアムにも反映しました。春節の準備が本格化する11～12月を控えて需要が落ち込んだ10月半ばには、プレミアムが下落して一時的にディスカウントになりました。

中国で見られたパターンは他のアジア・中東市場にも当てはまりません。つまり需要が年の前半に伸び、価格期待の安定を受けて10月に落ち込み、12月に再び増加するというパターンです。トルコの場合も同じような需要パターンが見られましたが、この市場では需要をけん引する要因が若干異なりました。同国では第3四半期に造幣局のストライキが発生し、市場に出回る金貨が不足したことから、宝飾品の需要が恩恵を受けたのです。その結果、季節的に強い第3四半期の需要がさらに押し上げられました。しかし第4四半期には逆の動きが見られました。ストライキが終結して金貨の鑄造が再開されたため、消費者は金貨で需要を満たすようになり、金宝飾品の需要の一部が食われる形になりました。

図6: 年間宝飾品需要(トン、金額)



- 2013年の世界の需要は、金融危機が発生した2008年以降で最大だった。
- 2013年は金価格が大幅に下落したにもかかわらず、金額ベースの需要は2012年の水準からわずかな縮小にとどまっており、2013年のほうが金宝飾品の購入が活発だったことが分かる。

Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

日本では宝飾品需要の伸びが下期に集中し、アジア・中東地域のトレンドの例外となりました。経済状況が上向いて消費者センチメントが改善したことや、2014年4月からの消費税率の引き上げ(5%から8%)が近づいたことなどがその理由です。増税の見通しを受け、税率が上がる前に前倒して金を購入する消費者がみられました。

すでに解説したように、米国と英国では2013年下期に消費者需要が加速して12年ぶりに年間需要が前年を上回り、トレンド反転の兆候が見られました。しかしイタリアではこの動きはありませんでした。同国では政治・経済の不安定さが消費者センチメントや可処分所得にマイナスに作用したことから、需要の長期的な減少傾向が続きました。とはいえ、減少ペースは大幅に緩和しています。宝飾品需要の前年比の減少率は、2006年以降で初めて10%を下回りました。

ロシアでは、ミドルクラスの持続的な拡大に支えられて年間宝飾品需要が4年連続で前年を上回り、5年ぶりの高水準に達しました。ロシアでは米国や英国と同じような需要パターンが見られ、需要の伸びが下期に集中しました。しかし国内経済が減速したことや、ルーブル安によって国際的な金価格下落の影響が限られたことを背景に、需要増加のペースは減速しました。

投資

投資セクターでは2013年を通して、機関投資家がETFポジションを大規模に(880.8トン)売却して市場に金を供給する一方で、金地金・金貨の需要が過去最高(1,654.1トン)に達するという好対照が目を見ました。小型金地金の需要が大きく伸びた第1～第3四半期に比べると、第4四半期の需要は減速しましたが、この図式は第4四半期にも見られました。金地金・金貨の購入量は急増したものの、年間の投資需要は2013年に50%減少しました。

投資の専門家の関心は引き続き米国の経済と金融政策の動向に集中しており、第4四半期にはETFから新たに180.3トンの金が流出しました。しかし市場ではコアとなる戦略的ポジションを残して戦術的ポジションが売却されたことから、流出量は徐々に減少する見通しです。

店頭市場(OTC)投資および在庫変動²を含めた投資総需要は1,368.6トンで、2012年を10%下回りました。2013年下期のOTCは580.8トンとまれに見る高水準に達しましたが、この点については当然説明が必要です。すでに言及した通り、西から東への金の流れは、第3四半期までと比べるとペースは落ちたものの、第4四半期も継続しました。第4四半期に生じたこの流れの大半は、アジア地域のサプライチェーンで第3四半期までに減少した在庫の補充や積み増しが目的でした。2013年前半に在庫不足に陥った銀行、製造業者、卸売業者、小売業者は、同じことを繰り返さないように在庫の積み増しを進めています。このような在庫積み増しの動きと、製造・小売セクターのキャパシティの拡大が与える影響については、概要の中国需要に関するセクションで説明しました。(ある試算によれば、中国の金製造業のキャパシティが最大20%拡大した可能性があります。)また、このことは他のアジア市場にも当てはまり、在庫補充の動きがさらに拡大しました。

2 店頭市場投資および在庫変動には、投資市場における不透明な要素や、未確認の在庫変動分、統計上の残差が含まれる。

店頭市場投資および在庫変動(OTC Investment and stock flows)には金預金口座も含まれます。特にトルコや中国といった国々で、金預金口座が増加しました。さらに、中国などで金融取引の担保として使用される金もここに含まれます。中国では新しい金融商品(銀行間スワップやETFなど)が数多く導入されています。

中国における金庫の容量の大幅な拡大も、店頭市場投資および在庫変動に影響しています。大型保管庫の新設などの結果、本土だけ見ても、香港と台湾を含めた場合でも、金の保管容量が拡大しました。これはひとつには、消費者需要の категорияでとらえられない金需要の伸びを反映したためであり、こうした需要の一部は前述した供給網での在庫積み増しの動きと関連するでしょう。したがって、小売需要以外の金地金の流れは店頭市場投資および在庫変動の数字に組み入れています。

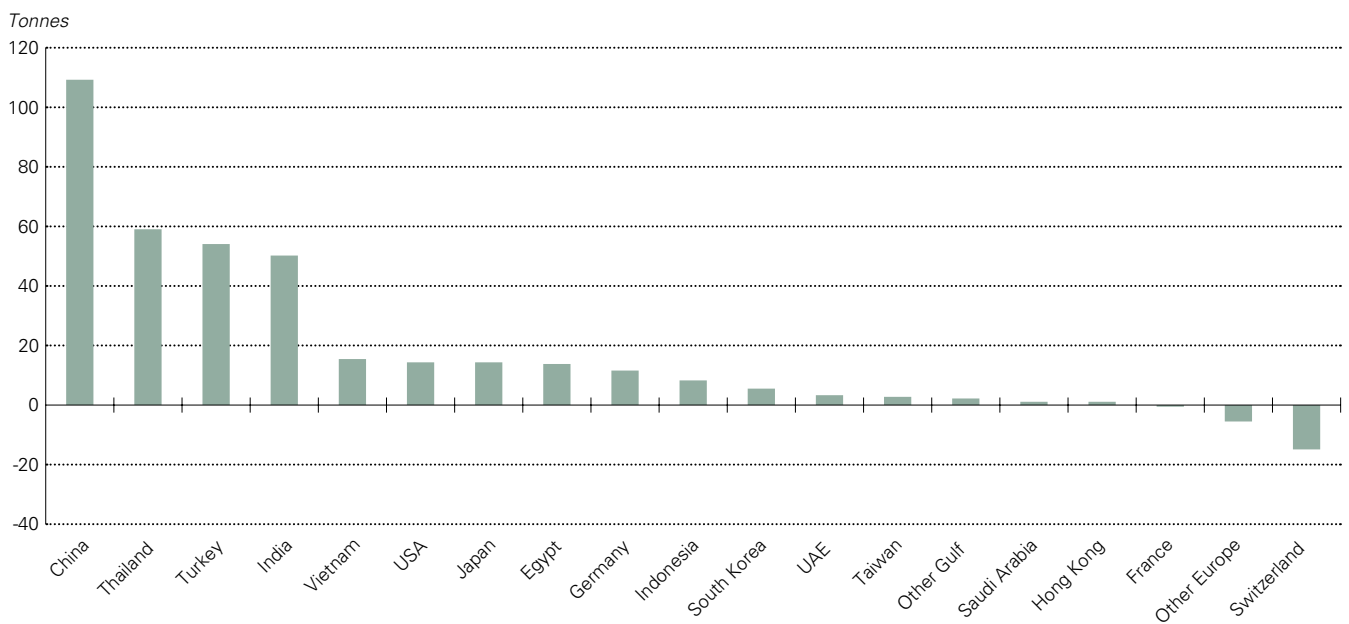
最後に、公表されていない公的セクターへの金の流入分も、すべてこのカテゴリーに含まれます。また、公表されない中央銀行の金購入分として想定していた許容量を超えている可能性があります。

このような多様な金の流れの性質上、1つ1つの流れが店頭市場投資および在庫変動の数字に与えた影響を正確に数値化することは不可能です。しかし全体のかなりの割合を占めていることは、確実です。この点に関し、店頭市場投資および在庫変動の数字は今後改訂されるでしょう。こうした作業は以前にも実施しており、在庫の変化やサプライチェーンにおける例外的な拡大が市場全体に影響を及ぼしたことを踏まえて、第1～第3四半期の数値が一部見直され、主に金地金・金貨の需要に再配分されています。

市場の消費者サイドでは、引き続き小型の金地金・金貨と高カラット宝飾品の需要が堅調で、高カラット宝飾品は投資代替品としての役割を踏まえています。この傾向は、より高い純度の金が一般的である中国、インド、中東などの市場で特に顕著に見られました。

中国の小口投資は、宝飾品需要と同じような傾向で、第3四半期までの購買熱の高まりで需要が満たされたことから、第4四半期に勢いが衰えました。しかし12月に入り春節が近づくと再び投資意欲が高まり、現地の価格プレミアムが若干上昇しました。

図7: 各国の金地金・金貨需要の前年比(トン)



- 金地金・金貨の需要は過去最高を記録し、幅広い国々で需要が増加したことを反映した。
- 欧州は例外で、需要は金融危機後に確立した高い水準で推移しているものの、世界的な傾向とは逆の傾向を示した。

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

インドの2013年の金地金・金貨の需要は過去最高だった2011年に匹敵する水準に達しましたが、その理由はひとえに上期、政府の輸入制限が始まる前の需要の強さにあります。現地価格の上昇と供給面の制約によって、金地金・金貨に対する消費者の潜在的な需要は表面化しませんでした。しかし事例報告では、政府のガイドラインは金貨の販売を禁止するものだという解釈に基づいて第3四半期に金貨の在庫が凍結され、その後ガイドラインが明確化されたことを受けて10～11月に(ディワリ祭の時期に合わせて)在庫が放出されたことが示唆されています。金価格の現地プレミアムが高水準に達していたため、銀行は現地価格より安い価格での販売が可能でした。

消費者の投資に関しては、年間需要が2005年以降で初めて純増となった日本が特筆に値します。日本の投資需要は7年連続で純マイナスでしたが(その間の流出額は合計266.1トン)、2013年は3四半期連続で純プラスとなりました。日本最大の地金商である田中貴金属のレポートによれば、2013年の金地金販売量は37.3トンと5年ぶりの高水準に達し、投資の増加を裏付けています。安倍晋三首相の政策「アベノミクス」は国内インフレを刺激すると見られ、インフレ回避が投資増加の主な原動力となりました。また円安によって年の半ばに底を打った金の現地価格がかなり持ち直したことも、投資需要を際立たせました。

その他の域内市場では、タイとインドネシアで投資需要が過去最高水準に達しました。また、ベトナムと韓国でも需要が力強く拡大しました。これらの市場に共通するのは、特に第2四半期に金価格の下落に素早く反応し、機会に乗じた金購入が活発化したことです。ベトナムでは現地プレミアムが200米ドル/オンス前後で高止まりしていますが、投資家は引き続き、金の持つインフレ回避や資産保全の特性を愛好しています。また、これらの市場の需要の強さは、ある程度インドへの非正規ルートでの金流入を反映している可能性もあります。

欧米の投資需要は東の市場ほど金価格の下落に強く反応しませんでした。米国の金地金・金貨需要は2012年を26%も上回りました。上期に金価格が下落したことから、金貨の需要が急増しました。米造幣局のレポートによると、イーグル金貨の年間販売量は重量ベースで14%、枚数ベースで29%増加しました。ここには額面金額が小さい金貨(1/10オンスと1/4オンス)の人気の高さが表れており、これらの金貨の販売量は、西暦2000年問題に関連して金需要が急増した1999年以來の高い水準に達しました。

欧州市場で投資需要が伸びたのはドイツだけでした(図7)。ドイツは投資家が投資配分に金を含める必要性を強く確信している国のひとつです。金価格が下落した2013年は金のポジションを増やす絶好の機会となり、第4四半期は贈答シーズンであることも手伝って需要が増加しました。欧州全体の投資需要は前年同期をわずかに4%下回りましたが、金融危機が発生した2008年以降に確立した高い水準の範囲内を維持しています。

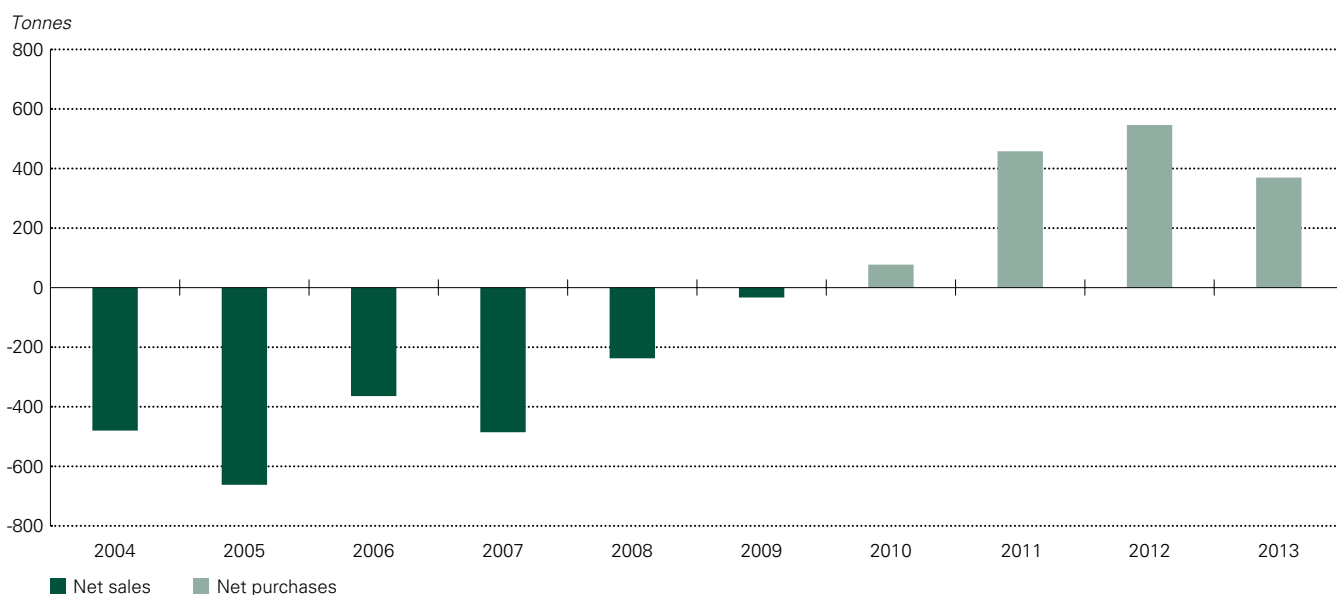
中央銀行

中央銀行による2013年の金の純購入量は、第4四半期に61トンが追加されて368.6トンでした。中央銀行による買い越しは12四半期連続となりました。金価格の不安定な動きや外貨準備の拡大率の低下を受けて、年末に向かって金購入ペースは鈍化しました。年間購入量はワールド ゴールド カウンシルが広く議論してきた予測どおりで、前年比では32%減少しましたが、2012年の需要がほぼ50年ぶりという極めて高い水準であったことを考えると、2013年は堅調な結果だったと言えます(図8)。

2013年に金準備が大きく増加したのはロシア(77トン)、カザフスタン(28トン)、アゼルバイジャン(20トン)、韓国(20トン)で、それ以外の国の中央銀行では小規模な購入(8トン以下)にとどまりました。2013年末までに金準備を減らした国は減少し、年間の純売却量は合わせて10トン程度だったと報告されています。

現行の中央銀行金売却協定(CBGA)は最終年度を迎えましたが、記念硬貨製造プログラムに関連して3.5トン売却したドイツを除けば、今のところCBGAに基づく売却はありません。2013年の金価格の動向にかかわらず、CBGA調印国で金準備を減らす意欲は乏しい状態が続いていることは明らかです。

図8: 中央銀行の売り越し・買い越し量(トン)



- 2013年の中央銀行の金買い越し量は369トンと健全な水準で、ワールド ゴールド カウンシルの予想範囲と一致。
- このセクターは4年連続で買い越しとなり、2014年もこの状況が続く見通し。

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

テクノロジー

2013年には、世界経済見通しの改善と金価格の下落が好材料となってテクノロジー分野の金需要は安定し、2012年の407.5トンに対し2013年は404.8トンとなりました。

電子機器セクターの第4四半期および年間の需要には、主に2つの要素が影響を及ぼしました。1つ目は、経済の成長と安定化を背景とした消費者センチメントの改善によってサプライチェーンが刺激され、完成品の販売量が堅調に増加したことです。そして2つ目は、金のボンディングワイヤのさらなる生産減少により、この増加分が相殺されたことです。

最近のデータ³によると、世界の半導体売り上げは2013年第4四半期に8%増の799億米ドルに達し、年間では過去最高の3,056億米ドルを記録しました。これをけん引したのはスマートフォンやタブレット端末の需要の拡大です。液晶ディスプレイ(LCD)を用いた製品の需要も堅調に増加しました。その他の半導体応用分野では、中国と米国を中心に、引き続き自動車用途が力強く需要を支えました。

その他の産業と装飾品(OID)における金需要は2013年にわずかに増加しました。このセグメントは価格に敏感であることから、当然ながら需要増加の大部分に貢献したのはアジアの国々であり、いくつかの欧州市場での需要減少を相殺しました。第4四半期にルピー建て金価格が下落したため、インドでは同四半期にジャリ(金糸)や装身具用の金需要が急増しました。中国でも価格下落を受けてわずかな需要増加が見られました。

歯科用途の金需要は、金価格の下落を受けて縮小ペースは鈍化したものの、長期的な減少傾向が継続しました。第4四半期には需要が小幅に増加しましたが、2013年全体で見ると、金から安価な代替品(主にコバルトクロム合金、ポーセレン、セラミック)へのシフトという長期的なトレンドが続きました。

3 米国半導体工業会(SIA)、2013年12月

供給

リサイクル活動が引き続き減少して鉱山生産量の小幅増加分を上回り、2013年全体の金供給量は減少しました。産金会社のヘッジ解消の規模はごく小さく、供給量に与えた影響は限定的でした。

リサイクル金の年間供給量は6年連続で減少し、2008年以降で最低となりました。先進工業国と途上国ではリサイクル活動の誘因が異なりますが、どちらも同じように供給量が減少しました。

リサイクル活動の規模は金価格だけで決まるわけではありませんが、金価格は重要な要素であり、2013年にはその影響が顕著に表れました。金価格が第2四半期に急落し、その後も軟調に推移した結果、大半の市場でリサイクル活動が大幅に縮小しました。しかしインドでは、リサイクル活動の縮小が小幅なものにとどまりました。同国では金の現地価格が米ドル建て価格と乖離して第3四半期に過去最高水準まで高騰したことに加え、金の輸入制限の影響で供給が逼迫したことから、供給不足を補うためにある程度のリサイクル金が必要とされたためです。ワールド ゴールド カウンシルがインドで実施した消費者調査によると、輸入制限によって現地の価格プレミアムが押し上げられた第3四半期から第4四半期にかけて、「過去12カ月以内に金を売った」と答えた回答者の数が増加しました(図9)。

中国では、途上国の中で例外的にリサイクル活動が増加しました。消費者は金価格が6月の安値から回復した機会をとらえ、手持ちの金の一部を売って利益を獲得しました。2013年は安値に乗じた金購入が進んで消費者需要が急増したことから、金価格が確実に持ち直せば、リサイクル活動が再び活発化する可能性は高いと思われます。

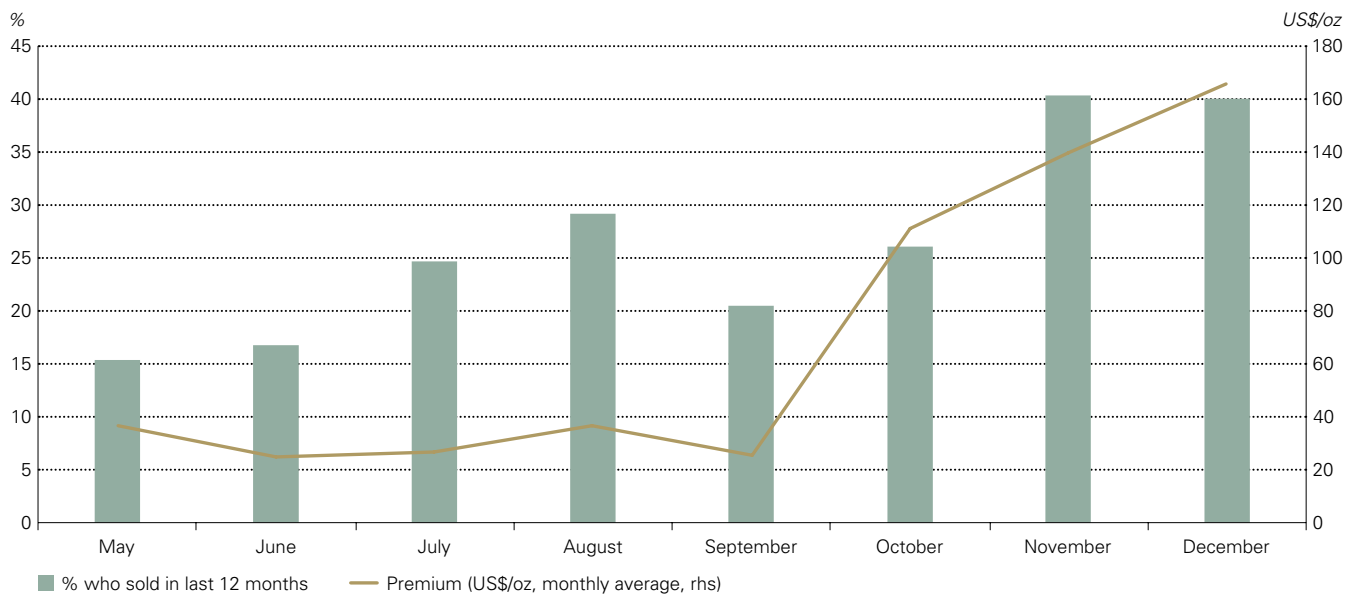
鉱山生産は2013年に154.4トン(5%)増加し、その大半が下期に集中しました。年初から年間を通して見られた鉱山の新規操業やフル操業の開始、あるいは既存鉱山の生産量の拡大というトレンドが、第4四半期も明らかに継続しました。

カナダでは多くの新しい鉱山(デトゥア・レイク鉱山やカナディアン・マラティック鉱山など)で増産が続き、同国の供給増加分の約20%を生み出しました。ここ数年混乱が続いていたインドネシアのグラスベルグ鉱山では、生産量が正常レベルに近づきつつあり、同国の供給量が増える結果となりました。精錬業界の生産量が拡大した中国も大きく貢献しています。インドネシア、オーストラリア、ロシア、ブラジルも年間供給量の増加に貢献しました。

一方、供給量が減少した国々の中で最も目立ったのは南アフリカです。もっとも、ストライキによる混乱が2012年ほど深刻ではなかったため、減少ペースは鈍化しました。米国も供給量を減らしましたが、これは主に生産する金の品位が下がったことが影響しています。

鉱山供給の2つ目の要素である産金会社のネット・ヘッジ活動が供給に与えた影響は、2013年も引き続き最小限にとどまりました。既存ポジションのヘッジ解消は合計50トンに過ぎず、軟調な金相場を受けて産金会社が大規模なヘッジプログラムに着手すると考える根拠はほとんど見当たりませんでした。世界のヘッジブック残高は100トン未満と過去10年以上で最低の水準にとどまっており、この先もヘッジ活動が金供給に与える影響が小さいことを示唆しています。

図9: インドでの消費者調査:過去12カ月以内に金宝飾品を売りましたか?



- インドの消費者は基本的な金価格の動きに加えて現地価格プレミアムに敏感に反応した。
- リサイクル金が、正規の金輸入が急減したことによる供給不足を補う役割を果たした。

Note: Survey of 1,001 Indian consumers and their attitude towards gold conducted by the World Gold Council.

Source: Thomson Reuters, World Gold Council

金需要統計

表3: 金需要(トン)

	2012	2013 ¹	Q1'12	Q2'12	Q3'12	Q4'12	Q1'13	Q2'13	Q3'13	Q4'13 ¹	Q4'13 vs Q4'12 % chg	4-quarter % chg ²
Jewellery	1,896.1	2,209.5	490.4	420.6	461.7	523.4	554.8	602.8	498.0	553.8	6	17
Technology	407.5	404.8	106.0	103.2	102.3	96.0	102.5	103.2	102.8	96.2	0	-1
Electronics	284.5	282.4	73.8	71.4	72.3	67.0	72.1	71.9	72.0	66.5	-1	-1
Other industrial	84.4	85.0	22.2	21.9	20.6	19.7	21.7	22.2	21.1	20.1	2	1
Dentistry	38.6	37.3	10.0	9.9	9.4	9.3	8.8	9.1	9.8	9.7	4	-3
Investment	1,568.1	773.3	406.1	295.7	432.3	434.1	264.5	182.9	179.1	146.7	-66	-51
Total bar and coin demand	1,289.0	1,654.1	352.9	295.7	294.6	345.9	441.1	585.2	300.8	327.0	-5	28
Physical bar demand	962.7	1,266.9	271.2	217.4	215.7	258.3	330.2	449.9	239.4	247.4	-4	32
Official coin	213.0	283.4	55.1	55.4	49.2	53.3	80.1	97.0	45.5	60.8	14	33
Medals/imitation coin	113.4	103.8	26.5	22.8	29.7	34.3	30.8	38.4	16.0	18.8	-45	-8
ETFs and similar products ³	279.1	-880.8	53.2	0.0	137.8	88.1	-176.5	-402.2	-121.8	-180.3	-	-
Central bank net purchases	544.1	368.6	117.8	163.5	112.3	150.4	129.1	82.4	96.2	61.0	-59	-32
Gold demand	4,415.8	3,756.1	1,120.3	983.0	1,108.7	1,203.8	1,050.9	971.3	876.1	857.8	-29	-15
London PM fix (US\$/oz)	1,669.0	1,411.2	1,690.6	1,609.5	1,652.0	1,721.8	1,631.8	1,414.8	1,326.3	1,276.2	-26	-15

1 Provisional.

2 Percentage change, 12 months ended December 2013 vs 12 months ended December 2012.

3 For a listing of the Exchange Traded Funds and similar products, please see the *Notes and definitions*.

Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表4: 金需要(百万米ドル)

	2012	2013 ¹	Q1'12	Q2'12	Q3'12	Q4'12	Q1'13	Q2'13	Q3'13	Q4'13 ¹	Q4'13 vs Q4'12 % chg	4-quarter % chg ²
Jewellery	101,745	100,248	26,657	21,767	24,521	28,972	29,108	27,419	21,236	22,724	-22	-1
Technology	21,864	18,365	5,759	5,339	5,435	5,316	5,379	4,694	4,385	3,948	-26	-16
Electronics	15,265	12,813	4,012	3,692	3,842	3,709	3,781	3,270	3,069	2,727	-26	-16
Other industrial	4,530	3,858	1,204	1,135	1,095	1,092	1,138	1,010	899	823	-25	-14
Dentistry	2,069	1,694	543	512	498	515	460	414	417	398	-23	-18
Investment	84,144	35,085	22,071	15,300	22,962	24,028	13,877	8,321	7,636	6,021	-75	-57
Total bar and coin demand	69,169	75,049	19,179	15,301	15,646	19,149	23,139	26,618	12,827	13,417	-30	10
Physical bar demand	51,655	57,483	14,742	11,251	11,455	14,300	17,323	20,462	10,207	10,153	-29	12
Official coin	11,428	12,857	2,995	2,869	2,611	2,948	4,202	4,411	1,940	2,495	-15	14
Medals/imitation coin	6,086	4,709	1,442	1,180	1,579	1,901	1,614	1,745	681	770	-60	-21
ETFs and similar products ³	14,975	-39,964	2,892	-1	7,317	4,879	-9,261	-18,297	-5,192	-7,396	-	-
Central bank net purchases	29,193	16,724	6,404	8,462	5,967	8,323	6,771	3,747	4,101	2,503	-70	-41
Gold demand	236,946	170,422	60,892	50,867	58,885	66,639	55,134	44,181	37,358	35,195	-47	-28

1 Provisional.

2 Percentage change, 12 months ended December 2013 vs 12 months ended December 2012.

3 For a listing of the Exchange Traded Funds and similar products, please see the *Notes and definitions*.

Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表5: 総投資需要(特に記載する場合を除きトン)

	2012	2013 ¹	Q1'12	Q2'12	Q3'12	Q4'12	Q1'13	Q2'13	Q3'13	Q4'13 ¹	Q4'13 vs Q4'12 % chg	4-quarter % chg ²
Investment	1,568.1	773.3	406.1	295.7	432.3	434.1	264.5	182.9	179.1	146.7	-66	-51
Total bar and coin demand	1,289.0	1,654.1	352.9	295.7	294.6	345.9	441.1	585.2	300.8	327.0	-5	28
Physical bar demand	962.7	1,266.9	271.2	217.4	215.7	258.3	330.2	449.9	239.4	247.4	-4	32
Official coin	213.0	283.4	55.1	55.4	49.2	53.3	80.1	97.0	45.5	60.8	14	33
Medals/imitation coin	113.4	103.8	26.5	22.8	29.7	34.3	30.8	38.4	16.0	18.8	-45	-8
ETFs and similar products ³	279.1	-880.8	53.2	0.0	137.8	88.1	-176.5	-402.2	-121.8	-180.3	-	-
OTC investment and stock flows ⁴	-55.2	595.4	-89.6	90.5	25.6	-81.6	3.0	11.6	263.5	317.2	-	-
Total investment	1,513.0	1,368.6	316.4	386.2	457.9	352.4	267.6	194.5	442.6	464.0	32	-10
Total investment US\$m	81,184	62,098	17,198	19,985	24,320	19,510	14,037	8,847	18,873	19,037	-2	-25

1 Provisional.

2 Percentage change, 12 months ended December 2013 vs 12 months ended December 2012.

3 For a listing of the Exchange Traded Funds and similar products, please see the *Notes and definitions*.

4 For an explanation of OTC investment and stock flows, please see the *Notes and definitions*.

Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表6: 金の供給と需要(ワールド ゴールド カウンシル表記)

	2012	2013 ¹	Q1'12	Q2'12	Q3'12	Q4'12	Q1'13	Q2'13	Q3'13	Q4'13 ¹	Q4'13 vs Q4'12 % chg	4-quarter % chg ²
Supply												
Mine production	2,864.1	3,018.6	667.1	707.4	744.6	745.0	684.1	732.8	799.0	802.7	8	5
Net producer hedging	-39.7	-50.1	-1.3	-8.0	1.3	-31.7	-10.6	-15.1	-5.9	-18.5	-	-
Total mine supply	2,824.4	2,968.5	665.8	699.5	745.9	713.3	673.5	717.7	793.1	784.2	10	5
Recycled gold	1,590.8	1,371.4	382.8	389.0	433.3	385.7	361.7	301.3	369.0	339.4	-12	-14
Total supply	4,415.2	4,339.9	1,048.5	1,088.5	1,179.2	1,099.0	1,035.2	1,019.0	1,162.0	1,123.6	2	-2
Demand												
Fabrication												
Jewellery ³	1,950.7	2,197.9	508.3	435.5	506.6	500.2	536.1	638.9	520.4	502.4	0	13
Technology	407.5	404.8	106.0	103.2	102.3	96.0	102.5	103.2	102.8	96.2	0	-1
Sub-total above fabrication	2,358.2	2,602.6	614.3	538.7	609.0	596.2	638.6	742.1	623.3	598.7	0	10
Total bar and coin demand	1,289.0	1,654.1	352.9	295.7	294.6	345.9	441.1	585.2	300.8	327.0	-5	28
ETFs and similar	279.1	-880.8	53.2	0.0	137.8	88.1	-176.5	-402.2	-121.8	-180.3	-	-
Central bank net purchases ⁴	544.1	368.6	117.8	163.5	112.3	150.4	129.1	82.4	96.2	61.0	-59	-32
Gold demand	4,470.4	3,744.5	1,138.2	997.9	1,153.6	1,180.6	1,032.2	1,007.4	898.5	806.4	-32	-16
OTC investment and stock flows ⁵	-55.2	595.4	-89.6	90.5	25.6	-81.6	3.0	11.6	263.5	317.2	-	-
Total demand	4,415.2	4,339.9	1,048.5	1,088.5	1,179.2	1,099.0	1,035.2	1,019.0	1,162.0	1,123.6	2	-2
London PM fix (US\$/oz)	1,669.0	1,411.2	1,690.6	1,609.5	1,652.0	1,721.8	1,631.8	1,414.8	1,326.3	1,276.2	-26	-15

1 Provisional.

2 Percentage change, 12 months ended December 2013 vs 12 months ended December 2012.

3 Jewellery fabrication. The quarterly data differ from those for jewellery consumption shown in Table 3. Fabrication is the first transformation of gold bullion into a semi-finished or finished product. Jewellery consumption is equal to fabrication plus/minus jewellery imports/exports plus/minus stocking/de-stocking by distributors and manufacturers. On an annual basis, the consumption and fabrication data series will reconcile.

4 Excluding any delta hedging of central bank options.

5 For an explanation of OTC investment and stock flows, please see the *Notes and definitions*.

Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council. Data in the table are consistent with those published by Thomson Reuters GFMS in their Gold Survey but adapted to the World Gold Council's presentation.

表7: インドの供給推計

Figures in tonnes	Q4'12	Q1'13	Q2'13	Q3'13	Q4'13 ¹	2013 ¹
Supply						
Net imports, available for domestic consumption	256	268	352	91	114	825
Domestic supply from recycled gold	24	21	10	53	17	101
Domestic supply from other sources ²	3	2	2	2	2	7
Equals total supply ³	283	291	364	145	133	934

1 Provisional.

2 Domestic supply from local mine production, recovery from imported copper concentrates and disinvestment.

3 This supply can be consumed across the three sectors – jewellery, investment and technology. Consequently, the total supply figure in the table will not add to jewellery plus investment demand for India.

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表8: 公的セクターの金保有高上位40カ国(報告ベース、2013年12月時点)

		Tonnes	% of reserves			Tonnes	% of reserves
1	United States	8,133.5	70%	21	Austria	280.0	47%
2	Germany	3,387.1	66%	22	Belgium	227.4	33%
3	IMF	2,814.0	-	23	Philippines	193.2	9%
4	Italy	2,451.8	65%	24	Algeria	173.6	3%
5	France	2,435.4	65%	25	Thailand	152.4	4%
6	China	1,054.1	1%	26	Kazakhstan	143.7	23%
7	Switzerland	1,040.1	8%	27	Singapore	127.4	2%
8	Russia	1,035.2	8%	28	Sweden	125.7	7%
9	Japan	765.2	2%	29	South Africa	125.1	10%
10	Netherlands	612.5	51%	30	Mexico	123.1	3%
11	India	557.7	7%	31	Libya	116.6	4%
12	Turkey	519.7	15%	32	BIS	115.0	-
13	ECB	502.1	26%	33	Greece	112.2	75%
14	Taiwan	423.6	4%	34	Korea	104.4	1%
15	Portugal	382.5	84%	35	Romania	103.7	8%
16	Venezuela	367.6	72%	36	Poland	102.9	4%
17	Saudi Arabia	322.9	2%	37	Australia	79.9	6%
18	United Kingdom	310.3	12%	38	Kuwait	79.0	9%
19	Lebanon	286.8	23%	39	Indonesia	78.1	3%
20	Spain	281.6	23%	40	Egypt	75.6	16%

For information on the methodology behind this data, as well as footnotes for specific countries, please see our table of Latest World Official Gold Reserves, at http://www.gold.org/government_affairs/gold_reserves/

Source: IMF IFS, World Gold Council

表9: 各国の消費者需要: 2013年第4四半期(トン)

	Q4'12			Q4'13*			Q4'13* vs Q4'12, % change		
	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total
India	153.0	108.9	261.9	150.7	68.0	218.7	-2	-38	-16
Greater China	145.6	73.6	219.2	160.5	67.8	228.2	10	-8	4
China	137.0	71.2	208.2	150.7	65.1	215.8	10	-9	4
Hong Kong	6.7	0.5	7.2	7.9	0.6	8.4	17	24	18
Taiwan	1.9	2.0	3.9	1.9	2.1	4.0	2	5	4
Japan	3.8	-3.9	-0.1	4.2	0.8	5.0	11	-	-
Indonesia	6.5	4.9	11.4	8.4	4.5	12.9	28	-8	13
South Korea	2.1	0.5	2.6	2.0	1.6	3.5	-7	210	35
Thailand	0.3	15.1	15.4	0.4	20.0	20.4	17	32	32
Vietnam	2.0	16.3	18.3	2.2	18.2	20.4	9	12	11
Middle East	34.0	9.4	43.3	33.3	12.1	45.4	-2	29	5
Saudi Arabia	9.4	4.7	14.1	10.5	4.1	14.6	12	-13	4
Egypt	11.5	0.5	12.0	8.7	3.6	12.3	-25	567	2
UAE	9.4	3.5	12.8	9.9	3.5	13.4	6	1	5
Other Gulf	3.8	0.7	4.4	4.2	0.9	5.1	12	36	15
Turkey	6.5	6.8	13.3	7.0	26.3	33.3	8	289	151
Russia	19.9	-	19.9	21.2	-	21.2	6	-	6
USA	40.1	16.5	56.5	48.4	15.0	63.4	21	-9	12
Europe ex CIS	22.3	66.9	89.2	24.1	60.8	84.9	8	-9	-5
Italy	11.3	-	11.3	10.2	-	10.2	-10	-	-10
UK	11.0	-	11.0	13.9	-	13.9	26	-	26
France	-	0.9	0.9	-	0.9	0.9	-	-4	-4
Germany	-	26.1	26.1	-	27.4	27.4	-	5	5
Switzerland	-	19.1	19.1	-	13.8	13.8	-	-28	-28
Other Europe	-	20.8	20.8	-	18.8	18.8	-	-10	-10
Total above	436.1	314.9	751.0	462.1	295.1	757.3	6	-6	1
Other	87.3	31.0	118.3	91.7	31.9	123.6	5	3	5
World total	523.4	345.9	869.3	553.8	327.0	880.9	6	-5	1

*Provisional.

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表10: 各国の消費者需要: 2013年第4四半期(金額ベース、百万米ドル)

	Q4'12			Q4'13*			Q4'13* vs Q4'12, % change		
	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total
India	8,470	6,028	14,498	6,183	2,790	8,973	-27	-54	-38
Greater China	8,060	4,076	12,136	6,585	2,780	9,365	-18	-32	-23
China	7,584	3,940	11,524	6,183	2,671	8,854	-18	-32	-23
Hong Kong	371	25	396	322	23	345	-13	-8	-13
Taiwan	105	111	216	80	86	166	-24	-22	-23
Japan	210	-216	-6	172	33	205	-18	-	-
Indonesia	360	271	631	343	185	527	-5	-32	-16
South Korea	116	28	144	80	64	144	-31	130	0
Thailand	17	838	855	14	822	837	-14	-2	-2
Vietnam	111	902	1,014	90	747	837	-19	-17	-17
Middle East	1,882	518	2,399	1,365	496	1,861	-27	-4	-22
Saudi Arabia	518	260	778	431	168	599	-17	-35	-23
Egypt	637	30	666	355	148	503	-44	394	-25
UAE	519	191	710	406	144	550	-22	-25	-23
Other Gulf	209	37	245	173	37	210	-17	0	-15
Turkey	360	375	735	287	1,080	1,367	-20	188	86
Russia	1,102	-	1,102	868	-	868	-21	-	-21
USA	2,218	913	3,130	1,986	615	2,601	-10	-33	-17
Europe ex CIS	1,236	3,701	4,937	989	2,496	3,484	-20	-33	-29
Italy	626	-	626	419	-	419	-33	-	-33
UK	610	-	610	570	-	570	-7	-	-7
France	-	50	50	-	35	35	-	-29	-29
Germany	-	1,445	1,445	-	1,124	1,124	-	-22	-22
Switzerland	-	1,057	1,057	-	566	566	-	-46	-46
Other Europe	-	1,149	1,149	-	770	770	-	-33	-33
Total above	24,140	17,434	41,575	18,962	12,108	31,070	-21	-31	-25
Other	4,832	1,715	6,547	3,762	1,309	5,071	-22	-24	-23
World total	28,972	19,149	48,121	22,724	13,417	36,141	-22	-30	-25

*Provisional.

Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表11: 各国の消費者需要: 4四半期合計(トン)

	12 months ended Q4'12			12 months ended Q4'13*			Year on Year % change		
	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total
India	552.0	312.2	864.2	612.7	362.1	974.8	11	16	13
Greater China	551.9	296.0	847.9	711.4	408.7	1,120.1	29	38	32
China	518.8	288.0	806.8	668.7	397.1	1,065.8	29	38	32
Hong Kong	26.3	2.0	28.2	35.3	2.8	38.1	34	41	35
Taiwan	6.9	6.0	12.9	7.5	8.8	16.2	9	46	26
Japan	16.7	-10.1	6.6	17.6	3.7	21.3	6	-	225
Indonesia	30.8	22.1	52.9	37.9	30.1	68.0	23	36	28
South Korea	10.1	2.7	12.8	9.7	7.8	17.5	-3	189	37
Thailand	3.0	78.1	81.1	3.5	136.6	140.1	17	75	73
Vietnam	11.4	65.4	76.8	11.9	80.3	92.2	4	23	20
Middle East	153.5	33.3	186.8	178.5	52.7	231.2	16	58	24
Saudi Arabia	47.1	16.3	63.4	55.0	17.2	72.2	17	6	14
Egypt	39.7	2.1	41.7	41.8	15.5	57.3	5	652	37
UAE	49.8	12.3	62.1	61.8	15.3	77.1	24	24	24
Other Gulf	16.9	2.7	19.6	19.9	4.8	24.6	18	75	26
Turkey	61.5	47.9	109.5	73.3	101.9	175.2	19	113	60
Russia	69.6	-	69.6	73.3	-	73.3	5	-	5
USA	108.4	53.4	161.8	122.8	67.5	190.3	13	26	18
Europe ex CIS	43.6	276.1	319.7	43.6	265.2	308.9	0	-4	-3
Italy	22.3	-	22.3	20.2	-	20.2	-9	-	-9
UK	21.4	-	21.4	23.4	-	23.4	10	-	10
France	-	2.9	2.9	-	1.9	1.9	-	-37	-37
Germany	-	109.7	109.7	-	121.0	121.0	-	10	10
Switzerland	-	80.5	80.5	-	65.1	65.1	-	-19	-19
Other Europe	-	82.9	82.9	-	77.3	77.3	-	-7	-7
Total above	1,612.4	1,177.1	2,789.6	1,896.2	1,516.6	3,412.8	18	29	22
Other	283.7	111.9	395.6	313.2	137.5	450.7	10	23	14
World total	1,896.1	1,289.0	3,185.2	2,209.5	1,654.1	3,863.5	17	28	21

*Provisional.

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表12: 各国の消費者需要: 4四半期合計(金額ベース、百万米ドル)

	12 months ended Q4'12			12 months ended Q4'13*			Year on Year % change		
	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total
India	29,663	16,828	46,491	27,985	16,717	44,702	-6	-1	-4
Greater China	29,694	15,933	45,627	32,507	19,098	51,605	9	20	13
China	27,919	15,503	43,422	30,566	18,567	49,134	9	20	13
Hong Kong	1,407	107	1,514	1,597	127	1,724	13	19	14
Taiwan	368	323	692	344	403	747	-7	25	8
Japan	892	-552	340	799	143	942	-10	-	177
Indonesia	1,657	1,189	2,847	1,736	1,373	3,109	5	15	9
South Korea	540	145	685	452	351	803	-16	143	17
Thailand	162	4,197	4,359	167	6,331	6,499	4	51	49
Vietnam	610	3,510	4,120	554	3,606	4,160	-9	3	1
Middle East	8,222	1,792	10,014	8,189	2,368	10,557	0	32	5
Saudi Arabia	2,518	876	3,394	2,504	780	3,284	-1	-11	-3
Egypt	2,132	111	2,242	1,919	682	2,602	-10	517	16
UAE	2,669	659	3,327	2,864	690	3,555	7	5	7
Other Gulf	903	147	1,050	901	215	1,116	0	46	6
Turkey	3,276	2,556	5,832	3,350	4,714	8,064	2	84	38
Russia	3,740	-	3,740	3,309	-	3,309	-12	-	-12
USA	5,844	2,872	8,716	5,403	3,119	8,522	-8	9	-2
Europe ex CIS	2,362	14,791	17,153	1,898	11,956	13,853	-20	-19	-19
Italy	1,205	-	1,205	886	-	886	-26	-	-26
UK	1,157	-	1,157	1,012	-	1,012	-13	-	-13
France	-	158	158	-	83	83	-	-48	-48
Germany	-	5,867	5,867	-	5,435	5,435	-	-7	-7
Switzerland	-	4,328	4,328	-	2,952	2,952	-	-32	-32
Other Europe	-	4,438	4,438	-	3,486	3,486	-	-21	-21
Total above	86,663	63,261	149,924	86,349	69,776	156,125	0	10	4
Other	15,255	6,014	21,268	14,137	6,226	20,363	-7	4	-4
World total	101,918	69,275	171,192	100,486	76,002	176,488	-1	10	3

*Provisional.

Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

金需要の過去データ

表13: 金需要の過去データ¹

	Tonnes						US\$bn					
	Jewellery	Total bar and coin invest	ETFs and similar	Tech-nology	Central banks	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	ETFs and similar	Tech-nology	Central banks	Total
2004	2,616	357	133	418	-479	3,046	34.4	4.7	1.7	5.5	-6.3	40.1
2005	2,720	397	208	438	-663	3,099	38.9	5.7	3.0	6.3	-9.5	44.3
2006	2,300	419	260	468	-365	3,082	44.6	8.1	5.1	9.1	-7.1	59.8
2007	2,423	442	253	476	-484	3,110	54.2	9.9	5.7	10.6	-10.8	69.5
2008	2,304	875	321	461	-235	3,725	64.6	24.5	9.0	12.9	-6.6	104.4
2009	1,816	786	623	410	-34	3,601	56.8	24.6	19.5	12.8	-1.0	112.6
2010	2,020	1,214	382	465	77	4,159	79.5	47.8	15.0	18.3	3.0	163.8
2011	1,975	1,521	185	452	457	4,589	99.8	76.8	9.4	22.8	23.1	231.9
2012	1,896	1,289	279	407	544	4,416	101.7	69.2	15.0	21.9	29.2	236.9
2013 ²	2,209	1,654	-881	405	369	3,756	100.2	75.0	-40.0	18.4	16.7	170.4
Q4'07	578	65	80	111	-97	737	14.6	1.6	2.0	2.8	-2.4	18.6
Q1'08	484	101	73	122	-76	703	14.4	3.0	2.2	3.6	-2.3	20.9
Q2'08	559	149	4	124	-68	770	16.1	4.3	0.1	3.6	-1.9	22.2
Q3'08	694	283	149	119	-76	1,169	19.4	7.9	4.2	3.3	-2.1	32.7
Q4'08	567	346	95	96	-12	1,092	14.5	8.8	2.4	2.5	-0.3	27.9
Q1'09	356	147	465	88	-62	994	10.4	4.3	13.6	2.6	-1.8	29.0
Q2'09	445	210	68	102	9	834	13.2	6.2	2.0	3.0	0.3	24.7
Q3'09	492	210	42	107	10	861	15.2	6.5	1.3	3.3	0.3	26.6
Q4'09	522	211	42	113	10	897	18.5	7.5	1.5	4.0	0.4	31.7
Q1'10	528	254	6	114	58	960	18.8	9.0	0.2	4.1	2.1	34.2
Q2'10	415	305	296	116	14	1,145	16.0	11.7	11.4	4.4	0.5	44.1
Q3'10	514	312	50	120	23	1,019	20.3	12.3	2.0	4.7	0.9	40.2
Q4'10	564	343	30	116	-17	1,035	24.8	15.1	1.3	5.1	-0.8	45.5
Q1'11	555	401	-61	115	137	1,147	24.7	17.9	-2.7	5.1	6.1	51.1
Q2'11	491	339	54	118	66	1,068	23.8	16.4	2.6	5.7	3.2	51.7
Q3'11	457	422	87	115	141	1,223	25.0	23.1	4.8	6.3	7.7	66.9
Q4'11	472	359	104	103	113	1,152	25.6	19.5	5.7	5.6	6.1	62.5
Q1'12	490	353	53	106	118	1,120	26.7	19.2	2.9	5.8	6.4	60.9
Q2'12	421	296	0	103	164	983	21.8	15.3	0.0	5.3	8.5	50.9
Q3'12	462	295	138	102	112	1,109	24.5	15.6	7.3	5.4	6.0	58.9
Q4'12	523	346	88	96	150	1,204	29.0	19.1	4.9	5.3	8.3	66.6
Q1'13	555	441	-177	103	129	1,051	29.1	23.1	-9.3	5.4	6.8	55.1
Q2'13	603	585	-402	103	82	971	27.4	26.6	-18.3	4.7	3.7	44.2
Q3'13	498	301	-122	103	96	876	21.2	12.8	-5.2	4.4	4.1	37.4
Q4'13 ²	554	327	-180	96	61	858	22.7	13.4	-7.4	3.9	2.5	35.2

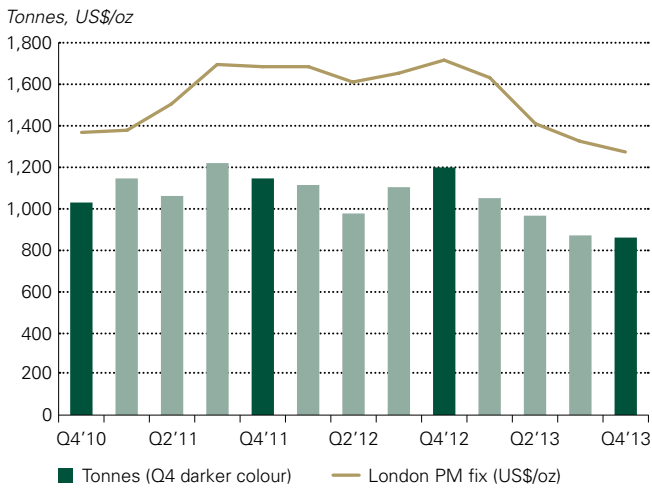
¹ See footnotes to Table 3 for definitions and notes.

² Provisional.

Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

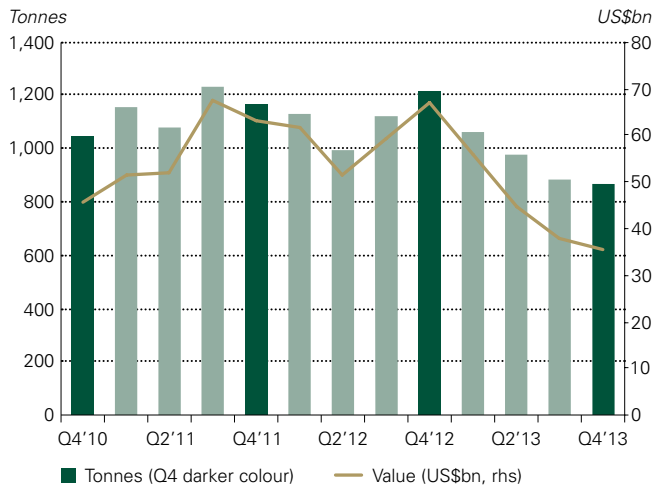
付録

図10: 金需要(トン)と金価格(米ドル/オンス)



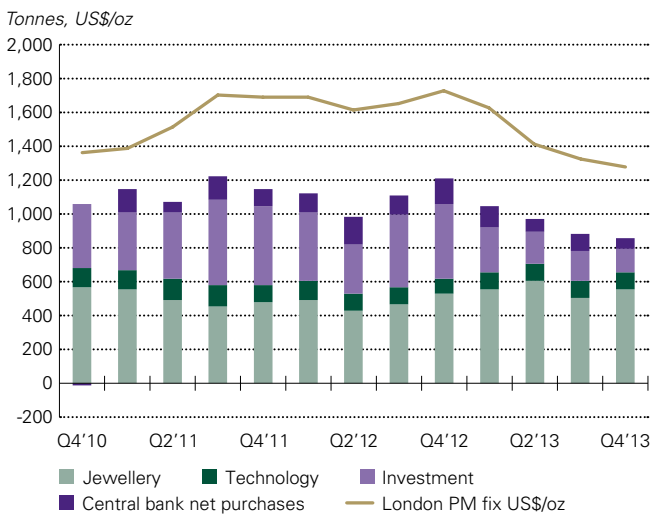
Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図11: 金需要(トンベースと金額ベース、(10億米ドル))



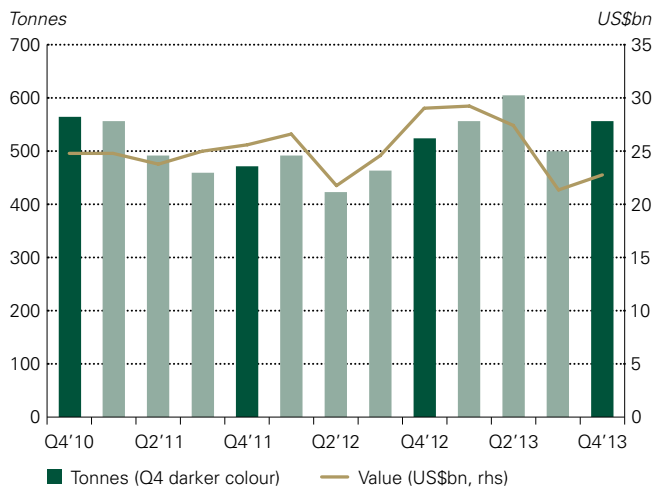
Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図12: 分野別金需要(トン)と金価格(米ドル/オンス)



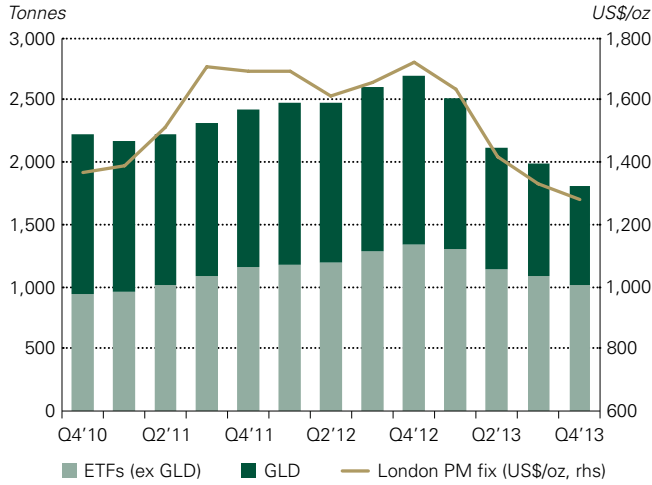
Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図13: 宝飾品需要(トンベースと金額ベース、(10億米ドル))



Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

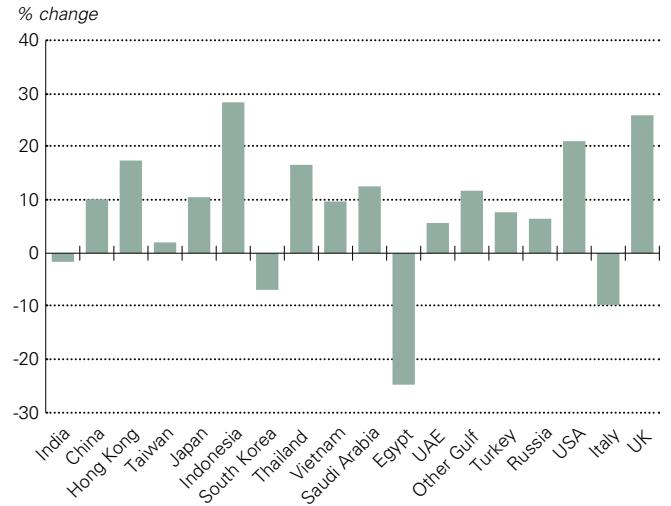
図14: ETFの保有高(トン)と金価格(米ドル/オンス)



Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, www.exchange-traded-gold.com, World Gold Council

図15: 国別宝飾品需要

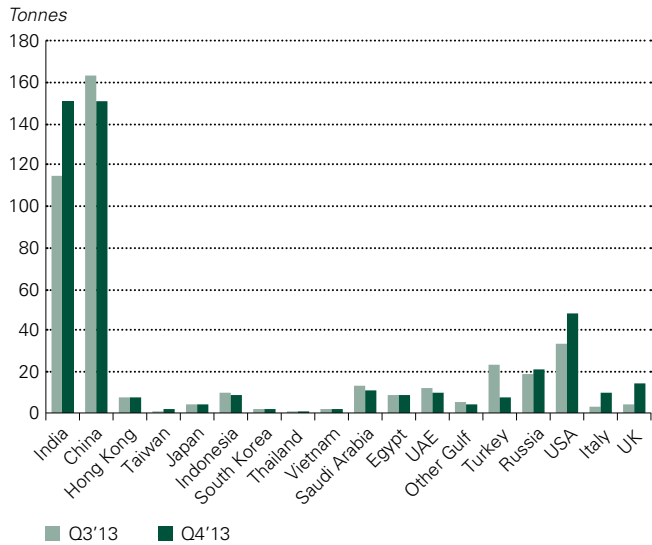
(2013年第4四半期と2012年第4四半期の対比、トン、変化率)



Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図16: 宝飾品需要

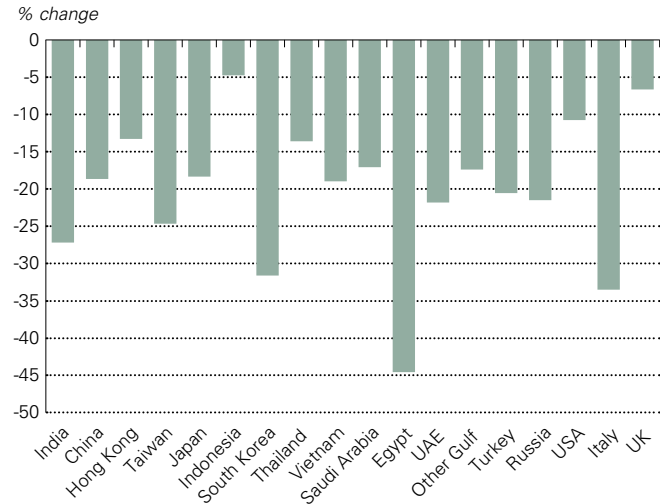
(2013年第4四半期と2013年第3四半期の対比、トン)



Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

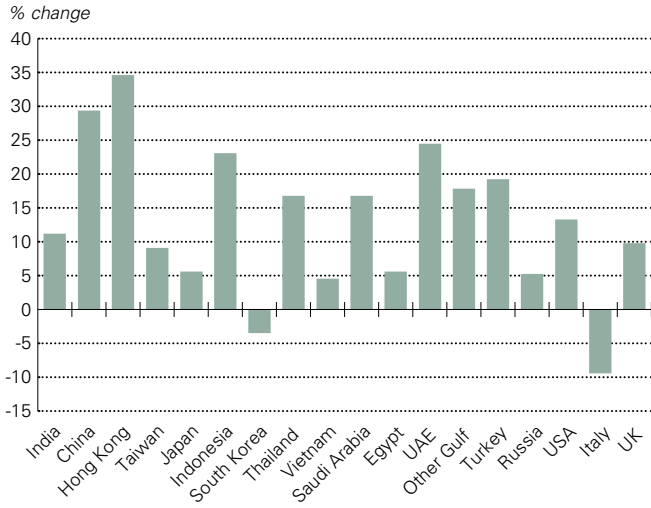
図17: 国別宝飾品需要

(2013年第4四半期と2012年第4四半期の対比、米ドル、変化率)



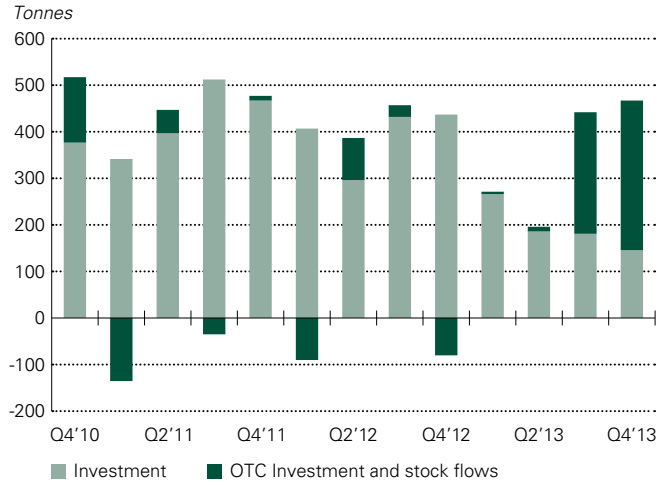
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図18: 国別宝飾品需要
(4四半期合計、トン、変化率)



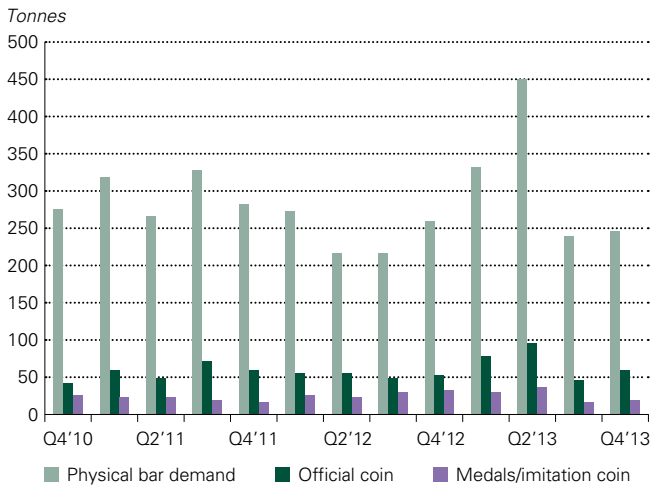
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図19: 総投資需要(トン)



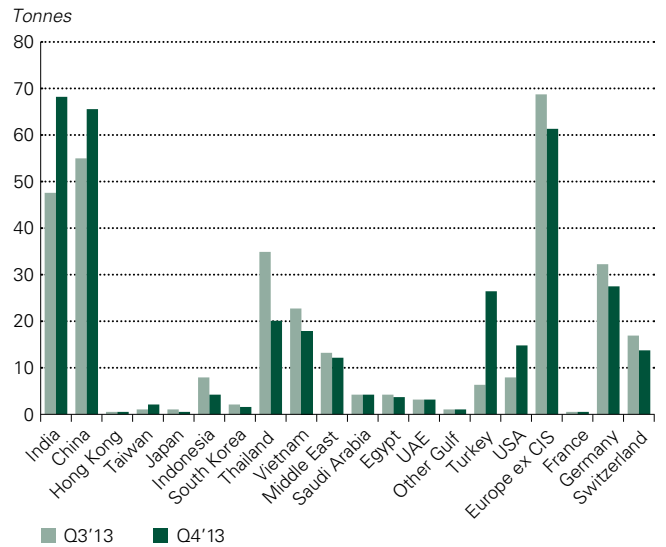
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図20: 分野別の金地金・金貨総需要(トン)



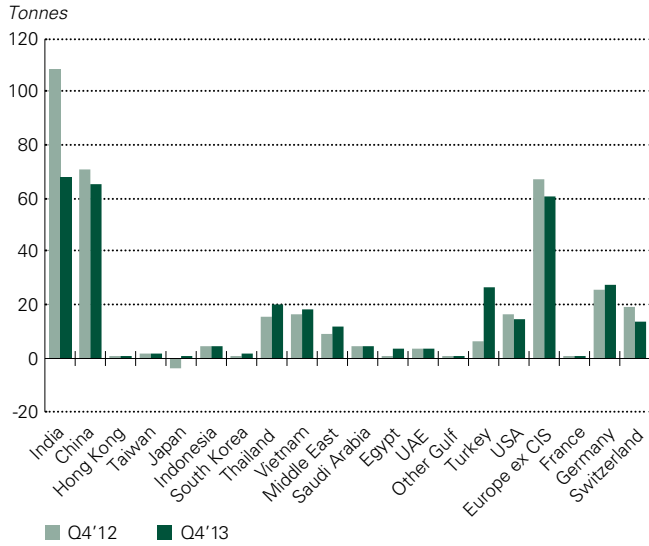
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図21: 金地金・金貨総需要
(2013年第4四半期と2013年第3四半期の対比、トン)



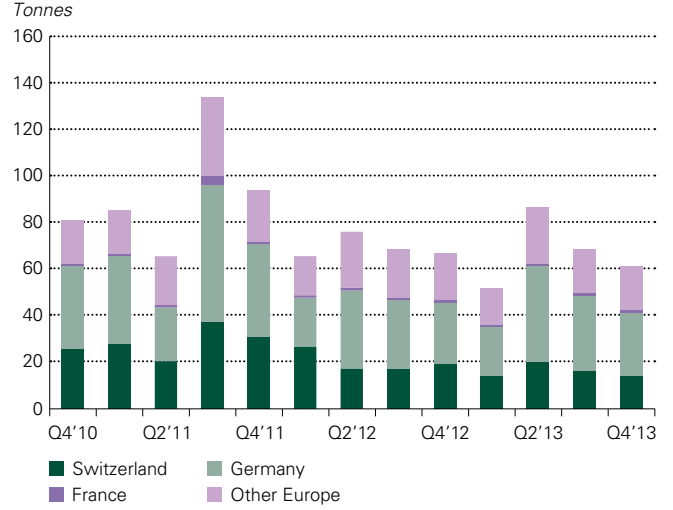
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図22: 金地金・金貨総需要
(2013年第4半期と2012年第4半期の対比、トン)



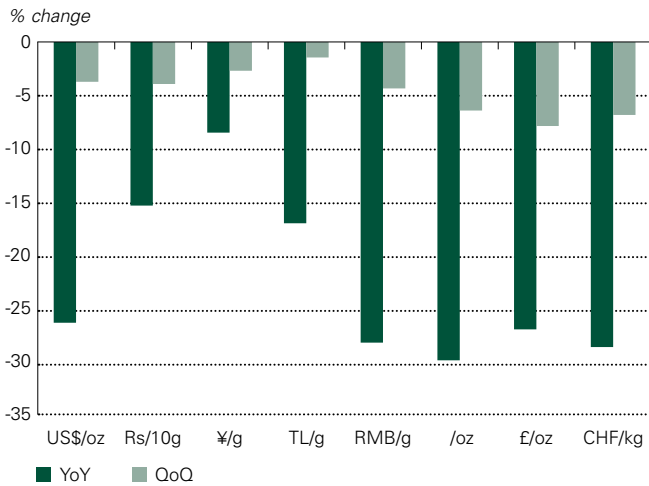
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図23: 欧州における金地金・金貨総需要(トン)



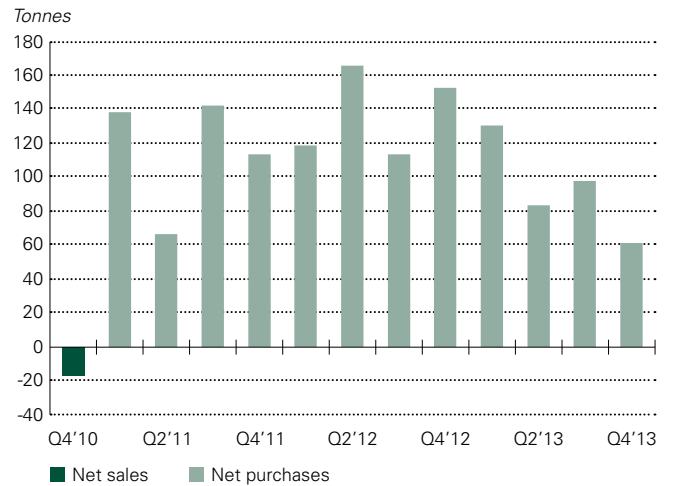
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図24: 2013年第4半期の平均金価格(変化率)



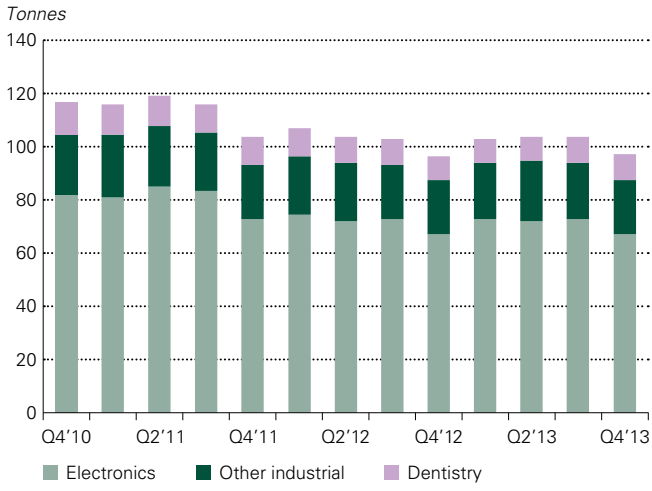
Source: LBMA, Thomson Reuters Datastream, World Gold Council

図25: 中央銀行の需要(トン)



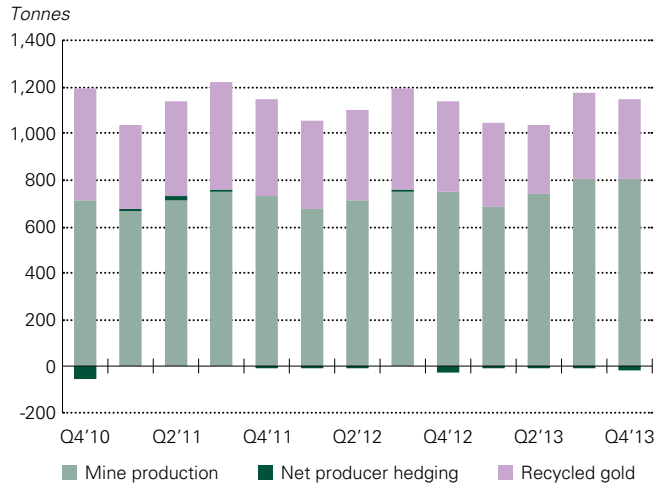
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図26: 分野別のテクノロジー需要(トン)



Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図27: 四半期別の供給量(トン)



Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

注記および定義

統計情報はすべて(特に明記されない限り)純金の重量です。

“_”

該当なし、利用不可

消費者需要(Consumer demand)

ある国における宝飾品ならびに金地金・金貨の購入の総計(すなわち個人が直接取得した金の量)。

歯科用途(Dental)

未加工の金を使用して、歯科用途(歯科利用の合金など)の中間製品または最終製品に加工すること。

ETFおよびその類似商品(ETFs and similar products)

次のETFおよびその類似商品を含む:Gold Bullion Securities (London)、Gold Bullion Securities (Australia)、SPDR® Gold Shares (iStreetTRACKS Gold Shares)、NewGold Gold Debentures、iShares Comex Gold Trust、ZKB Gold ETF、GOLDIST、ETF Securities Physical Gold、ETF Securities (Tokyo)、ETF Securities (NYSE)、XETRA-GOLD、Julius Baer Physical Gold、Central Fund of Canada and Central Gold Trust、Swiss Gold、iShares Gold Bullion Fund (旧Claymore Gold Bullion ETF)、Sprott Physical Gold Trust、ETF Securities Glitter、Mitsubishi Physical Gold ETF、iShares Gold CH

製造(Fabrication)

金塊から中間製品または最終製品への最初の変換。

宝飾品(Jewellery)

新たに製造されたすべてのカラット宝飾品および金時計(純金か他の原料を含むかは問わない)。ただし次のものは除外:中古宝飾品、金でメッキされた他の金属、宝飾品として利用される金貨・金地金、既存の宝飾品を下取りに出しての購入。

London PM fix

特に記載されない限り、ロンドン金価格(ロンドン午後決め値)に基づく金価格。

鉱山生産(Mine production)

公式および非公式の生産高。

産金会社のネット・ヘッジ額(Net producer hedging)

産金会社による金の先売り、貸し付けおよびオプション・ポジションの現物市場に与える影響を測定。ヘッジは金の売却、つまり金を(既存の在庫から)市場に放出する取引を加速させる。ヘッジ活動が長期間にわたって金供給をネットで増加させることはない。ヘッジ解消(ヘッジ・ポジションを解消するプロセス)は反対の影響を及ぼすもので、ある四半期において市場で利用可能な金の量を減少させる。

中央銀行の純購入(Central bank net purchases)

中央銀行等の公的機関による金購入総額から売却総額を控除したものの。スワップおよびデルタ・ヘッジの影響は除外している。

店頭市場投資および在庫変動

(OTC Investment and stock flows)

部分的には統計上の残差。このデータは主に不透明な店頭市場での需要を反映したもので、さらに製造業の在庫変動を含む。

金地金現物の需要(Physical bar demand)

延べ棒状の金現物に対する投資需要。

リサイクル金(Recycled gold)

過去に作られた製品から再生、精製して延べ棒状にされた金。

テクノロジー(Technology)

電子部品や歯科、医療、産業、装飾等の技術的用途において製造段階で使用されるすべての金の需要。電子部品用が最も大きな割合を占める。また、宝飾品のメッキに使用される金も含まれる。

トン(Tonne)

純金1,000キログラムまたは32,151トロイオンス。

金地金・金貨の総需要(Total bar and coin demand)

欧州連合(EU)が採用している金投資の基準に基づいて定義される、個人が購入した金貨・金地金。ただし、欧米だけではなく非欧米諸国の金貨・金地金需要も含まれる。最低でも純度99%の金貨、また少量で販売されるワイヤや金の塊も含まれる。実際には、最終的に地金ではなく貨幣と見なされることを了解のうえで販売されている様々な金貨も含まれている。中古コインは除外され、数字はネットの購入額を表す。

総投資(Total investment)

投資にかかわるすべての需要の合計で、金地金・金貨現物への需要、ETFおよびそれに類似する商品に対する需要、店頭市場投資および在庫変動を含む。

データの改訂

データはすべて、新しい情報に照らして改訂される可能性があります。

過去データ

より長い期間を対象としたデータは、本レポート公表後、トムソン・ロイターまたはブルームバーグから入手できます。またはトムソン・ロイター GFMS社(GFMS@thomsonreuters.com)へお問い合わせください。



情報元および著作権、免責事項について

© 2014 World Gold Council. 本レポートで言及されている金の供給および需要に関する統計情報は、そのように明記されている場合はトムソン・ロイター・GFMS社によって編集されたものです。トムソン・ロイター・GFMS社はかかる統計情報に関するすべての権利を保持します。
© 2014

All rights reserved. 以下に記載される場合を除き、いかなる組織または個人も、著作権所有者の書面による合意なしに本レポート内の金の供給および需要に関する統計情報を再生、配布、使用することはできません。本レポート内の統計情報の使用は、以下の2つの前提条件に従って検討および解説(メディアでの解説を含みます)することを目的とする場合に許可されます。第1の前提条件は、限られたデータ抽出内容のみが使われることです。第2の前提条件は、これらの統計情報を使用するすべてのケースでワールド・ゴールド・カウンシルが、また必要に応じて情報元であるトムソン・ロイター・GFMS社が明白に了解していることです。解説および他のワールド・ゴールド・カウンシルの資料からの短い抽出内容については、ワールド・ゴールド・カウンシルが情報元として引用されることを条件に許可されます。本レポートまたはそれに含まれる統計情報の全部もしくは大部分を再生、配布、使用することはできません。

本レポートでは情報の正確性を確保するためにあらゆる努力がなされていますが、ワールド・ゴールド・カウンシルもトムソン・ロイター・GFMS社もかかる正確性を保証しません。また、本レポートに含まれる資料は、特定の受領者もしくは組織の特定の投資目的、財務状態または特別なニーズとはいかなる関係もありません。本レポートは情報を提供することのみを目的として公表されており、金や金に関連する商品、その他の商品や有価証券、投資商品を売買したり売買するように薦めたりするためのものと解釈すべきではありません。

本レポートに含まれる情報の正確性、完全性、信頼性に関しては、明示的か黙示的かを問わず、いかなる種類の表明または保証もされません。ワールド・ゴールド・カウンシルおよびトムソン・ロイター・GFMS社は、本レポートの使用から直接または間接的に生じるいかなる損失または損害に対するいかなる責任も負わないものとします。

本レポートには、将来の見通しに関する記述が含まれています。「考える(believes)」、「予想する(expects)」、「可能性がある(may)」、「示唆する(suggests)」、またはそれらに類似する意味を持つ用語の使用は、「将来の見通し」に関する記述とします。本レポートに含まれる将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確実な要素を含む現在の予想に基づくものです。これらの将来に関する記述は、トムソン・ロイター・GFMS社によって編集された統計情報に基づいてワールド・ゴールド・カウンシルが行った分析に基づいています。上記に関する推定には、とりわけ将来の経済的な状況や、競争的な状況、市場の状況に関する判断が含まれており、これらはすべて正確に予測することが困難であるか、あるいは不可能なものです。また、金の需要および国際的な金市場は、将来の見通しに関する記述に特有の不確実性を増大させる様々なリスクに影響されます。本レポートに含まれている「将来の見通しに関する情報」に特有の大きな不確実性を考慮すれば、かかる情報を含めることは、将来の見通しに関する記述が実際にそのようになるということをワールド・ゴールド・カウンシルが表明していると思なされるべきものではありません。本レポートでワールド・ゴールド・カウンシルが表明している将来に関する記述には過度に依存しないように警告します。新しい情報や将来の出来事等があっても、通常の公表サイクル時以外でワールド・ゴールド・カウンシルは将来の見通しに関する記述を更新または改訂する意向はありません。また、将来の見通しに関する記述の更新については、ワールド・ゴールド・カウンシルはいかなる責任も負わないものとします。



ISO14001環境規格の認証を受けた印刷です。

World Gold Council

10 Old Bailey, London EC4M 7NG
United Kingdom

E marketintelligence@gold.org

T +44 20 7826 4700

F +44 20 7826 4799

W www.gold.org